

1-1 学校用地 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名 大学等コード

用地面積 (㎡) (職員宿舎を除く。)							合計
校舎・講堂・ 体育施設敷地	屋外運動場 敷地	附属病院 敷地	附置研究所 敷地	附属研究 施設敷地	寄宿舍施設	その他	
4	5	6	7	8	9	10	

この調査票は、学校基本調査 様式第20号「学校施設調査」の「3 学校土地の用途別面積」に準じており、数値を引用することが可能です。

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
4 ~ 10	<p>用地面積</p> <p>土地面積は、土地境界線内の水平投影面積を測る。面積の単位は平方メートルとし、1平方メートル未満は四捨五入する。 建物の敷地面積には、周囲の庭園、空地、通路等の附属地を含める。 「附属病院敷地」 医・歯・薬学部関係の附属病院の敷地を記入する。ただし、家畜・獣医病院は「附属研究施設敷地」に含める。 「附置研究所敷地」 大学に直属する研究所の敷地を記入する。 「附属研究施設敷地」 大学(学部)に所属する実験、実習所の敷地を記入する。 なお、校舎敷地、屋外運動場敷地等が隣接しているときは、その境界を明確にし、重複のないように注意する。 (学校基本調査 様式第20号 記入上の注意の学校施設の範囲、共同使用施設の記入方法 土地面積の測定 学校土地の用途別面積 を参照のこと。)</p>	5月1日現在	半角数字(㎡):9桁

(2017.11.29改訂)

1-2 施設(附属図書館) 調査票

共通調査票

調査年度(西暦) _____

大学等名 _____ 大学等コード _____

行番号	図書館等コード(*1)	図書館・室名	中央図書館数	分館数	部局図書館・室数	調査年度大学総経費(千円)	施設			運営体制					蔵書状態				資料受入状態					活動(利用)状況			
							延床面積(m ²)	閲覧座席数	専任職員数	臨時職員数	図書冊数	学術雑誌タイトル数	視聴覚資料点数	電子ジャーナル契約数	図書受入冊数	学術雑誌受入タイトル数	年間開館総日数	年間開館総時間数	一般公開有無	貸出冊数							
																				[可書資格者数]	[可書資格者数]	和	洋	和	洋	和	洋
1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

*1:図書館等コード: 組織登録票に登録した組織の中で、組織区分を「附属図書館」及びその「分館」として登録した施設について、その大学等で付番したコード。
 なお、学部・研究科等の図書室については、組織登録票に記載してある学部・研究科等名による記入とする。
 組織登録の第3階層に登録した分館等組織については、本館コード(3桁) + 分館コード(3桁)の計6桁で記入する。

重複エラーについて
 以下の順番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
 順番 4

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
4	図書館等コード 組織登録票に登録した組織の中で、組織区分を「附属図書館」及びその「分館」として登録した施設について、その大学等で付番したコード。 なお、学部・研究科等の図書室については、組織登録票に記載してある学部・研究科等名による記入とする。		
5	図書館・室名 図書館図書室の名称。		
6	中央図書館数 中央図書館の数。 図書館等コードが入力された場合、自動で「1」が設定される。	5月1日現在	
7	分館数 分館の数。 学術情報基盤実態調査 1-(B)の分館数に同じ。 この項目は、中央図書館の行でのみ記入する。		半角数字:5桁
8	部局図書館・室数 部局図書館・図書室の数。 学術情報基盤実態調査 1-(B)の部局図書館・室数に同じ。 この項目は、中央図書館の行でのみ記入する。		半角数字:3桁
9	調査年度大学総経費 調査年度大学総経費(千円単位)。 学術情報基盤実態調査 1-(C)の平成xx年度大学総経費に同じ。 この項目は、中央図書館の行でのみ記入する。	調査年度実績	半角数字:12桁
10	延床面積 図書館の延床面積(平方メートル)。 閲覧スペース、書庫のスペース、事務管理用のスペースなどを含む。 学術情報基盤実態調査 11-(B)-1-(4)「総延面積」の欄に同じ。		半角数字(m):6桁
11	閲覧座席数 図書館閲覧用の座席数。 学術情報基盤実態調査 11-(B)-2の「総閲覧座席数」の欄に同じ。	5月1日現在	半角数字:5桁
12-14	区分別職員数(専任・臨時) 専任職員数及び臨時職員数(可書資格者を含む)。 学術情報基盤実態調査 11-(A)-1-(6)「図書館・室職員総数」の「専任」及び「臨時」の欄に同じ。		半角数字(人数):5桁
13-15	区分別可書資格者数(専任・臨時) 上記の専任職員数及び臨時職員数のうち可書資格者数。 学術情報基盤実態調査 11-(A)-2-(2)「可書」の「専任」及び「臨時」の欄に同じ。		
16-17	区分別図書冊数(和・洋) 図書(和)及び図書(洋)の蔵書数(冊)。 学術情報基盤実態調査 1-(C)-1-(1)(a)「図書-和」及び 1-(C)-1-(1)(b)「図書-洋」に同じ。		
18-19	区分別学術雑誌タイトル数(和・洋) 契約学術雑誌(和)及び契約学術雑誌(洋)タイトル数。 学術情報基盤実態調査 1-(C)-1-(2)(a)「雑誌-和」及び 1-(C)-1-(2)(b)「雑誌-洋」に同じ。		
20	視聴覚資料点数 視聴覚資料の保有(合計)数。 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD-LD-DVD-BD、レコード、映像フィルム、スライド、CD-ROMなどを含む。 学術情報基盤実態調査 1-(C)-3「マイクロ資料の所蔵数」及び 1-(C)-4「視聴覚資料の所蔵数」の合計に同じ。	調査年度未現在	半角数字:7桁
21	電子ジャーナル契約数 電子ジャーナルの契約(種類)数。 学術情報基盤実態調査 1-(C)-2-(1)「電子ジャーナル」の「全利用可能種類数」の計に同じ。		
22-23	区分別図書受入冊数(和・洋) 図書(和)及び図書(洋)の年間受入冊数(冊)。 学術情報基盤実態調査 1-(D)-1-(4)「総受入冊数」の「和」及び「洋」に同じ。 寄贈分も含めて記入する。	調査年度実績	
24-25	区分別学術雑誌受入タイトル数(和・洋) 契約学術雑誌(和)及び契約学術雑誌(洋)の年間受入タイトル数。 学術情報基盤実態調査 1-(D)-2-(4)「総受入種類数」の「和」及び「洋」に同じ。		
26	年間開館総日数 1年間に開館した総日数。 学術情報基盤実態調査 1-(E)-1-(2)「開館総日数」の合計に同じ。		半角数字:3桁
27	年間開館総時間数 1年間に開館した総時間数。 学術情報基盤実態調査 1-(E)-1-(2)「開館総時間数」の合計に同じ。 小数点第2位以下は四捨五入し、第1位までで入力(例:4時間30分 4.5時間)。 整数部分5桁、小数部分1桁で入力。		半角数字:6桁
28	一般公開有無 図書館を学外者(一般市民、他大学学生・研究者、大学以外の研究者)へ公開しているかを区別。 公開とは、館内閲覧サービスを提供していることとし、館内の部分的な公開も含める。 学術情報基盤実態調査 1-(H)-1に合わせ、「認めていない」は無を、「時間内のみ利用を認めている」、「時間外開館中の利用も認めている」は有を選択する。 中央図書館のみ記入	調査年度実績	有無:リスト
29-30	区分別貸出冊数(学内(学生)・学外) 学内(学内(学生)への貸出冊数及び学外者(一般市民、他大学学生・研究者、大学以外の研究者)への貸出冊数)。 学術情報基盤実態調査 1-(E)-2「館外貸出冊数」の「学生」及び「学外者」に同じ。		半角数字:7桁

1-3 施設(保健センタ等) 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)	
----------	--

大学等名		大学等コード	
------	--	--------	--

行 番 号	センタ等コード(*1)	センタ等名	施設		活動(利用)状況			
			延床面積 (㎡)	運営体制	健康相談 (診断) 実施件数	定期健康診断実施件数		
						学生	教職員	合計
1	4	5	6	7	8	9	10	

学生・教員・職員に対して、定期健康診断や日常的に診療等を行っている施設(保健センタなど)の利用状況。

*1:「センタ等コード」: 組織登録票に登録した組織の中で、学生・教員・職員に対して定期健康診断や日常的に診療等を行っている施設について、その大学等で付番したコード。
組織登録の第三階層に登録した分室等組織については、本室コード(3桁または4桁) + 分室コード(3桁または4桁)の計6~8桁で記入する。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 4

【項番】	【項目定義】		【基準日】	【データ書式】
6	延床面積	保健センタ等の施設の延床面積(平方メートル)。 1平方メートル未満は四捨五入する。	5月1日現在	半角数字(㎡):6桁
7	運営体制	窓口開設時間、診療時間、医師在席状況、看護師在席状況などを400文字以内で記述する。		文字:400文字
8	健康相談(診断)実施件数	調査年度における、学生、教職員に対する健康相談等の延べ実施件数。 (診療行為・精神相談実施件数を含む。定期健康診断は含まない。) 同一者を対象とした複数の相談は、その回数分だけ計上する。	調査年度実績	半角数字(件):6桁
9	学生定期健康診断実施件数	調査年度に、定期健康診断を実施した学生の延べ人数。 一人の学生が複数回受診した場合には、受診回数分だけ計上する。		
10	教職員定期健康診断実施件数	調査年度に、定期健康診断を実施した教職員の延べ人数。(人間ドックは含めない) 一人の教員が複数回受診した場合には、受診回数分だけ計上する。		

(2017.11.29改訂)

1-4 施設(博物館等) 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名 大学等コード

博物館等コード(*1)	博物館等名	施設		運営体制			学術標本資料等 所蔵点数(整理済)						年間開館総日数	一般公開の有無	利用者数	展示活動状況	
		延床面積(m ²)	専任職員数	学芸員等	非常勤職員数	歴史(人文)	美術	自然史	理工	動水植	その他	合計				企画展示件数	展示替え件数
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		16	17	18	19	20
その他組織の特徴及び機能状況等																	
21																	

各組織が保有する博物館や美術館等の利用状況。学術標本等を体系的に収集・保管し、展示を前提とした施設を対象とする。

*1: 「博物館等コード」 組織登録票に登録した組織の中で、博物館や美術館について、その大学等で付番したコード。組織登録の第3階層に登録した分室等組織については、本室コード(3桁または4桁)+分室コード(3桁または4桁)の計6-8桁で記入する。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 4

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
6	延床面積 博物館等の施設の延床面積(平方メートル)。1平方メートル未満は四捨五入する。		半角数字(m ²):6桁
7	専任職員数 専任職員数(学芸員等含む)	5月1日現在	半角数字(人数):5桁
8	学芸員等数 専任職員数のうち、学芸員等数。		
9	非常勤職員数 非常勤職員数		
10	歴史系資料所蔵点数 学術的に整理済みである、歴史系資料の所蔵点数。歴史、民族、考古等。	調査年度未現在	半角数字:7桁
11	美術系資料所蔵点数 学術的に整理済みである、美術系資料の所蔵点数。古美術、西洋、東洋、近代等の美術品。		
12	自然史系資料所蔵点数 学術的に整理済みである、自然史系資料の所蔵点数。動物学、植物学、鉱物学などの資料。		
13	理工系資料所蔵点数 学術的に整理済みである、理工系資料の所蔵点数。科学技術、天文、産業など。		
14	動水植物系資料所蔵点数 動物園、水族館、植物園で飼育・栽培している動植物の種類数。		
15	その他資料所蔵点数 学術的に整理済みである、上記に分類されない資料の所蔵点数。		
16	年間開館総日数 1年間に開館している総日数。		半角数字:3桁
17	一般公開有無 施設を学外者(一般市民、他大学学生・研究者、大学以外の研究者)へ公開しているか否かを区別。館内の部分的な公開も含める。		有無:リスト
18	利用者数 利用(入館)者数。	調査年度実績	半角数字(人数):7桁
19	企画展示回数 企画展示の実施回数。		半角数字:3桁
20	展示替え回数 展示替えの実施回数。		
21	その他組織の特徴及び機能状況等 施設の特徴や、施設の機能状況(ex. 資料の研究機関への貸し出し実績、交換実績)等を自由記述。2400文字以内		

(2017.11.29改訂)

1-5 施設(寄宿舍等) 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名 大学等コード

行 番 号	寄宿舍等名称	建築年度	単身用			世帯用		
			平均床面積 (㎡)	室数	延入居者数	平均床面積 (㎡)	室数	延入居世帯数
1	4	5	6	7	8	9	10	11

各組織が保有する寄宿舍(学生・留学生用)の利用状況。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 4

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
4	寄宿舍等名称 寄宿舍等の名称。		文字:60字
5	建築年度 当該寄宿舍が竣工した年度。 YYYY形式 1800年～2100年の期間内。	5月1日現在	半角数字(西暦):4桁
6	単身用平均床面積 調査時点における、当該寄宿舍の単身用の部屋の1部屋当たりの平均床面積(平方メートル)。 1平方メートル未満は四捨五入する。	5月1日現在	半角数字(㎡):6桁
7	単身用室数 当該寄宿舍の単身用の部屋数。		半角数字(室):5桁
8	単身用延入居者数 当該寄宿舍の単身用の部屋の入居者数。 調査年度中の延べ数。(途中で退室した者、途中で入居した者、一年間通っていた者をそれぞれ1と数える。) 学生・留学生以外の者が同一の建物に入居している場合は、学生・留学生に関係する分だけを記入すること。	調査年度実績	半角数字(人):5桁
9	世帯用平均床面積 調査時点における、当該寄宿舍の世帯用の部屋の1部屋(1号)当たりの平均床面積(平方メートル)。 1平方メートル未満は四捨五入する。	5月1日現在	半角数字(㎡):6桁
10	世帯用室数 当該寄宿舍の世帯用の部屋数。		半角数字(室):5桁
11	世帯用延入居世帯数 当該寄宿舍の世帯用の部屋の入居世帯数。 調査年度中の延べ数。(途中で退室した者、途中で入居した者、一年間通っていた者をそれぞれ1と数える。) 学生・留学生以外の者が同一の建物に入居している場合は、学生・留学生に関係する分だけを記入すること。	調査年度実績	半角数字(世帯):5桁

(2017.11.29改訂)

2-1 専任教員 調査票

共通調査票

調査年度（西暦）

大学等名	大学等コード
学部・研究科等名	学部・研究科等コード

課程区分	学科・専攻等名	学科・専攻等コード	専任教員数 性別	職名						別掲			
				教授	准教授	講師	助教	助手 () *1	合計 みなし専任	研究指導教員		研究指導 補助教員	合計
										教授			
6	7	8	男	9	11	13	15	17	19	21	23	25	
			女	10	12	14	16	18	20	22	24	26	
合計			男										
			女										

項番 6、7、8 が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6、8

【項番】	【項目定義】
6	課程区分 学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学（専攻科）、短期大学（別科）、高等専門学校、高等専門学校（専攻科）、修士課程、博士課程（前期）、博士課程（後期）、博士課程（一貫）、専門職学位課程、その他 <ブルダウン選択>

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
7	学科・専攻等名 組織登録票「0 - 3 組織登録票（学科・専攻等）」で記載した組織名。	5月1日現在	文字：60字
8	学科・専攻等コード 組織登録票「0 - 3 組織登録票（学科・専攻等）」で記載したコード。		半角英数字：3桁または4桁
9 ~ 18	職名別・男女別専任教員数 職名・男女別による専任教員数。 「専任教員」 大学設置基準等を基に専任教員として数えられる者であり、辞令による本務教員とは異なります。 注意：*1の欄は使用しないこと。		半角数字(人数)：5桁
19 ~ 20	男女別みなし専任教員数 専任教員数のうち男女別によるみなし専任教員数の内数。 「みなし専任教員」 「（平成15年3月31日文科省告示第53号）専門職大学院に関し必要な事項について定める件」第2条及び「（平成16年12月15日文科省告示第175号）大学設置基準別表第一備考第九号の規定に基づき薬学関係（臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの）の学部に係る専任教員について定める件」に基づく専任教員数。		
21 ~ 22	男女別研究指導教員数 男女別による研究指導教員数。（大学院のみ該当。学部の場合は空欄とする。） 「研究指導教員」 「（平成11年9月14日文科省告示第175号 最終改訂平成26年11月7日文科科学省告示第161号）大学院に専攻ごとにおくものとする教員の数について定める件」に基づく研究指導教員数。		
23 ~ 24	内男女別研究指導教員数（教授） 研究指導教員のうち、教授の数。（大学院のみ該当。学部の場合は空欄とする。）		
25 ~ 26	男女別研究指導補助教員数 男女別による研究指導補助教員数。（大学院のみ該当。学部の場合は空欄とする。） 「研究指導補助教員」 「（平成11年9月14日文科省告示第175号 最終改訂平成26年11月7日文科科学省告示第161号）大学院に専攻ごとにおくものとする教員の数について定める件」に基づく研究指導補助教員数。		

2-2 本務教員(基本) 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名	<input type="text"/>	大学等コード	<input type="text"/>
学部・研究科等名	<input type="text"/>	学部・研究科等コード	<input type="text"/>

本務 教員数	性別	職名					合計
		教授	准教授	講師	助教	助手	
	男	6	6	6	6	6	
女	6	6	6	6	6		

この調査票は、学校基本調査 様式第7号「学生教職員等状況票」の「4 教員数(本務者)」に準じており、数値を引用することが可能です。

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
6	<p>職名別・男女別による本務教員数。 本務・兼務の区別は原則として辞令面による。辞令面で区別できない場合は、俸給(給料又はこれに相当するものを含む。)を支給されている方を本務とし、それ以外は兼務とする。2校以上から俸給を支給されている場合は、支給額の多い方を本務とする。また、俸給が同額又は一括支給されている場合は、授業時間の多い方を本務とする。学内で昼間部と夜間部の両方又は2以上の学部・学科に勤務する者は、いずれか一方を本務とし、他は兼務としない。 学部・研究科等(第2層レベル)に所属する本務教員の数を、職名・男女別に記入する。 なお、外国留学中及びサバティカル期間中の者並びに休職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。 また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。 (学校基本調査 様式第7号「学生教職員等状況票」記入上の注意 4教員数(本務者)及び5教員数(兼務者)を参照)</p> <p>【職名による区分】 教授、准教授、講師、助教、助手</p>	5月1日現在	半角数字(人数):5桁

(2018.10.25改訂)

2-3 本務教員（年齢別） 調査票

共通調査票

調査年度（西暦）

大学等名	<input type="text"/>	大学等コード	<input type="text"/>
学部・研究科等名	<input type="text"/>	学部・研究科等コード	<input type="text"/>

年齢区分	本務教員数					
	職名					
	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
～24歳	7	8	9	10	11	
25～34歳	7	8	9	10	11	
35～44歳	7	8	9	10	11	
45～54歳	7	8	9	10	11	
55～64歳	7	8	9	10	11	
65歳～	7	8	9	10	11	
合計						

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
7～11	<p>職名別・年齢区分別・本務教員数</p> <p>職名別・年齢区分別による本務教員数。 本務・兼務の区別は原則として辞令面による。辞令面で区別できない場合は、俸給（給料又はこれに相当するものを含む。）を支給されている方を本務とし、それ以外は兼務とする。2校以上から俸給を支給されている場合は、支給額の多い方を本務とする。また、俸給が同額又は一括支給されている場合は、授業時間の多い方を本務とする。学内で昼間部と夜間部の両方又は2以上の学部・学科に勤務する者は、いずれか一方を本務とし、他は兼務としない。 学部・研究科等（第2層レベル）に所属する本務教員の数を、職名・年齢区分別に記入する。 なお、外国留学中及びサバティカル期間中の者並びに退職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。 また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。 (学校基本調査 様式第7号「学生教職員等状況票」記入上の注意 4教員数(本務者)及び5教員数(兼務者)を参照)</p> <p>【職名による区分】 7:教授、8:准教授、9:講師、10:助教、11:助手 【教員の満年齢による区分:6】 ～24歳、25～34歳、35～44歳、45～54歳、55～64歳、65歳～</p>	5月1日現在	半角数字(人数):5桁

(2017.11.29改訂)

2-4 本務教員（在勤年数別） 調査票

任意調査票

調査年度（西暦）

大学等名	大学等コード
学部・研究科等名	学部・研究科等コード

在勤年数区分	本務教員数					合計
	職名					
	教授	准教授	講師	助教	助手	
～4年	7	8	9	10	11	
5～9年	7	8	9	10	11	
10～19年	7	8	9	10	11	
20～29年	7	8	9	10	11	
30～39年	7	8	9	10	11	
40年～	7	8	9	10	11	
合計						

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
7～11	<p>職名別・在勤年数区分別による本務教員数。 本務・兼務の区別は原則として辞令面による。辞令面で区別できない場合は、俸給（給料又はこれに相当するものを含む。）を支給されている方を本務とし、それ以外は兼務とする。2校以上から俸給を支給されている場合は、支給額の多い方を本務とする。また、俸給が同額又は一括支給されている場合は、授業時間の多い方を本務とする。学内で昼間部と夜間部の両方又は2以上の学部・学科に勤務する者は、いずれか一方を本務とし、他は兼務としない。</p> <p>学部・研究科等（第2層レベル）に所属する本務教員の数を、職名・在勤年数区分別に記入する。 なお、外国留学中及びサバティカル期間中の者並びに休職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。 また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。 （学校基本調査 様式第7号「学生教職員等状況票」 記入上の注意 4教員数（本務者）及び5教員数（兼務者）を参照）</p> <p>【職名による区分】 7：教授、8：准教授、9：講師、10：助教、11：助手 【教員の当該大学機関での勤務年数の区分（月以下は切り捨てる）：6】 ～4年、5～9年、10～19年、20～29年、30～39年、40年～ 勤務年数の定義は、当該機関の本務教員として勤務した実年数の合計とする。休職の期間は含め、学外兼務職員としての期間は除く。</p>	5月1日現在	半角数字(人数)：5桁

2-5 本務教員(取得学位別) 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名	大学等コード
学部・研究科等名	学部・研究科等コード

取得学位 (最上位)		本務教員数					合計	
		職名						
		教授	准教授	講師	助教	助手		
自大学	学士	7	8	9	10	11		
	修士	7	8	9	10	11		
	博士	7	8	9	10	11		
	専門職学位	修士	7	8	9	10	11	
		法務博士	7	8	9	10	11	
他大学	学士	7	8	9	10	11		
	修士	7	8	9	10	11		
	博士	7	8	9	10	11		
	専門職学位	修士	7	8	9	10	11	
		法務博士	7	8	9	10	11	
その他		7	8	9	10	11		
合計								

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
7 ~ 11	<p>職名別・取得学位別(最上位)による本務教員数。 本務・兼務の区別は原則として辞令面による。辞令面では区別できない場合は、俸給(給料又はこれに相当するものを含む。)を支給されている方を本務とし、それ以外は兼務とする。2校以上から俸給を支給されている場合は、支給額の多い方を本務とする。また、俸給が同額又は一括支給されている場合は、授業時間の多い方を本務とする。学内で昼間部と夜間部の両方又は2以上の学部・学科に勤務する者は、いずれか一方を本務とし、他は兼務としない。 学部・研究科等(第2層レベル)に所属する本務教員の数を、職名別・取得学位別(最上位)に記入する。 なお、外国留学中及びサバティカル期間中の者、並びに休職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。 また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する (学校基本調査 様式第7号「学生教職員等状況調査票」記入上の注意 4教員数(本務者)及び5教員数(兼務者)を参照) 【職名による区分】 教授、准教授、講師、助教、助手 【当該組織の本務教員が取得した学位による区分】 自大学/他大学別に学士、修士、博士、専門職学位(修士、法務博士)、その他(左記のいずれにも該当しない者、学位を持たない者を含む。) 複数の学位を持つ場合は、最上位の学位とする。 最上位の学位が複数ある場合は、それらのうち最終の学歴とする。 外国の学位の場合には、最も該当するものとする。 大学改革支援・学位授与機構での学位は「他大学」とする。</p>	5月1日現在	半角数字(人数):5桁

2-6 本務教員(専門分野別) 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名	<input type="text"/>	大学等コード	<input type="text"/>
学部・研究科等名	<input type="text"/>	学部・研究科等コード	<input type="text"/>

	専門分野	本務教員数					合計
		職名					
		教授	准教授	講師	助教	助手	
1	6	7	8	9	10	11	
2	6	7	8	9	10	11	
	合計						

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
6	専門分野 「本務教員の専門分野(教育研究分野)」 学校教員統計調査の「中分類」を用いる。学校基本調査の学科・系統分類表の中分類も同じである。 コード表中に該当の専門分野がない場合は、コード表の「小分類」で内容が最も類似した専門分野が属する中分類を選択。 <プルダウン選択>	5月1日現在	半角数字(人数):5桁
7~11	職名別・専門分野別本務教員数 職名別・専門分野別による本務教員数。 本務・兼務の区別は原則として辞令面による。辞令面で区別できない場合は、俸給(給料またはこれに相当するものを含む。)を支給されている方を本務とし、それ以外は兼務とする。2校以上から俸給を支給されている場合は、支給額の多い方を本務とする。また、俸給が同額又は一括支給されている場合は、授業時間の多い方を本務とする。学内で昼間部と夜間部の両方又は2以上の学部・学科に勤務する者は、いずれか一方を本務とし、他は兼務としない。学部・研究科等(第2層レベル)に所属する本務教員の数を、職名・専門分野別に記入する。 なお、外国留学中及びサバティカル期間中の者並びに休職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。 また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。 (学校基本調査 様式第7号「学生教職員等状況票」記入上の注意 4教員数(本務者)及び5教員数(兼務者)を参照) 【職名による区分】 教授、准教授、講師、助教、助手		

(2017.11.29改訂)

2-7 本務教員(学外経験別) 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名	<input type="text"/>	大学等コード	<input type="text"/>
学部・研究科等名	<input type="text"/>	学部・研究科等コード	<input type="text"/>

学外経験区分	本務教員数					
	職名					
	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
他大学・他共同利用機関	7	8	9	10	11	
国立または公立の機関	7	8	9	10	11	
民間等	7	8	9	10	11	
学外未経験	7	8	9	10	11	
合計						

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
6	<p>学外経験区分</p> <p>【本務教員の学外当該機関外での本務としての経験経歴による区分】 他大学・他共同利用機関、国立または公立の機関、民間等、学外未経験 【国立あるいは公立の機関】 国立研究所、独立行政法人、公設試験研究機関、日本学術振興会特別研究員、その他公的な研究機関(国際機関含む)など</p>	5月1日現在	半角数字(人数):5桁
7~11	<p>職名別・学外経験区分別本務教員数</p> <p>学部・研究科等(第2層レベル)に所属する本務教員の数を、職名・学外経験別に記入する。 なお、外国留学中及びサバティカル期間中の者並びに退職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。 また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。 (学校基本調査 様式第7号 記入上の注意 教員数(本務者) 及び 教員数(兼務者)を参照のこと。)</p> <p>【職名による区分】 教授、准教授、講師、助教、助手</p>	5月1日現在	半角数字(人数):5桁

(2017.11.29改訂)

2-8 本務教員(前歴別) 調査票

任意調査票

調査年度(西暦) _____

大学等名 _____ 大学等コード _____
 学部・研究科等名 _____ 学部・研究科等コード _____

前歴区分		本務教員数					合計
		教授	准教授	講師	助教	助手	
自大学・ 自共同利用機関	教授 (教授) 6	7	8	9	10	11	
	准教授 (助教授) 6	7	8	9	10	11	
	講師 (講師) 6	7	8	9	10	11	
	助教 (助手) 6	7	8	9	10	11	
	助手 () 6	7	8	9	10	11	
	学生 6	7	8	9	10	11	
	その他 6	7	8	9	10	11	
他大学・ 他共同利用機関	教授 (教授) 6	7	8	9	10	11	
	准教授 (助教授) 6	7	8	9	10	11	
	講師 (講師) 6	7	8	9	10	11	
	助教 (助手) 6	7	8	9	10	11	
	助手 () 6	7	8	9	10	11	
	学生 6	7	8	9	10	11	
	その他 6	7	8	9	10	11	
国立または公立の機関	6	7	8	9	10	11	
民間等	6	7	8	9	10	11	
その他	6	7	8	9	10	11	
合計							

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
6	<p>【本務教員の前歴による区分】 自大学・自大学共同利用機関等(教授、准教授、講師、助教、助手、学生、その他)、他大学・他大学共同利用機関等(教授、准教授、講師、助教、助手、学生、その他)、国立あるいは公立の機関、民間等、その他 平成19(2007)年4月1日からは、上段の職名区分により区分、それ以前は、下段の職名区分により区分。</p> <p>前歴とは、現在の本務先の職名に就任する「直前の本務先」なので、非常勤のみの場合は、「その他」欄に記入。学内の研究所の教授から学部の教授等自大学内の本務先が変わった場合も含める。 また、現在の本務先への採用の直前に雇用されていない期間がある場合には、その期間の長短に依らず「その他」欄に記入。 (前歴が学生の場合は3月31日まで在学していたものとして記入する)</p> <p>【国立あるいは公立の機関】 国立研究所、独立行政法人、公設試験研究機関、日本学術振興会特別研究員、その他公的な研究機関(国際機関含む)など</p>		
7 ~ 11	<p>職名別・前歴区分別による本務教員数。 本務・兼務の区別は原則として辞令面による。辞令面で区別できない場合は、俸給(給料又はこれに相当するものを含む。)を支給されている方を本務とし、それ以外は兼務とする。2校以上から俸給を支給されている場合は、支給額の多い方を本務とする。また、俸給が同額又は一括支給されている場合は、授業時間の多い方を本務とする。学内で昼間部と夜間部の両方又は2以上の学部・学科に勤務する者は、いずれか一方を本務とし、他は兼務としない。</p> <p>学部・研究科等(第2レベル)に所属する本務教員の数を、職名・前歴区分別に記入する。 なお、外国留学中及びサバティカル期間中の者並びに休職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。 また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。 (学校基本調査 様式第7号「学生教職員等状況票」記入上の注意 4教員数(本務者)及び5教員数(兼務者)を参照)</p> <p>【職名による区分】 教授、准教授、講師、助教、助手</p>	5月1日現在	半角数字(人数):5桁

2-9 兼務教員 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名	<input type="text"/>	大学等コード	<input type="text"/>
学部・研究科等名	<input type="text"/>	学部・研究科等コード	<input type="text"/>

学内兼務教員	学外兼務教員		合計
	教員からの兼務	教員以外からの兼務	
6	7	8	

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
6	学内兼務教員数 組織別の学内兼務の教員数。兼務の発令を基準に計上する。教員数には、兼任教員、客員教員、外国長期出張中等の者、休職中の者、及び外国籍教員も含めるが、名誉職や管理的な職務は含まない。	5月1日現在	半角数字(人数):5桁
7	学外兼務教員数(教員) 学外兼務教員のうち、教員からの兼務者数を記入。「教員からの兼務者」当該機関以外の教員(学校教育法第1条の学校の教員を指す)を本務とする者で、当該機関の兼務の教員として勤務する者を記入する。例えば、他大学の教員を本務とする者が講師を兼ねている場合など。 (学校基本調査 様式第7号「学生教職員等状況調査票」記入上の注意5教員数(兼務者)を参照)		
8	学外兼務教員数(教員以外) 学外兼務教員のうち、教員以外からの兼務者数を記入。「教員以外からの兼務者」当該機関以外の教員(学校教育法第1条の学校の教員を指す)を本務としない者で、当該機関の兼務の教員として勤務する者を記入する。例えば、当該機関の事務職員や、会社等を本務とする者が講師を兼ねている場合など。 (学校基本調査 様式第7号「学生教職員等状況調査票」記入上の注意5教員数(兼務者)を参照)		

(2017.11.29改訂)

2-10 職員 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名 大学等コード

職員数											
職種・勤務形態区分											
事務系		技術技能系		医療系		教務系		その他		合計	
常勤	常勤以外	常勤	常勤以外	常勤	常勤以外	常勤	常勤以外	常勤	常勤以外	常勤	常勤以外
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
	<p>職種・勤務形態区分別による常勤の職員数。 職員数には、外国長期出張中等の者、休職中の者、及び外国籍職員も含むが、学内兼務の職員(当該組織以外に本務先のある職員)は除く。 「常勤」常勤職員とは、当該組織の長又はその設置者から正規の職員としての辞令を受け、当該組織の定める就業規則に従い常勤的に勤務している職員。 (職種については学校基本調査 様式第7号「学生教職員等状況調査票」記入上の注意 6職員数を参照)</p>		
4	「事務系」庶務、会計、人事等の事務に従事している者をいい、学部、研究室等に勤務していても事務に従事している者は、この欄に記入する。図書職員で司書職務に従事している者も含める。		
6	「技術技能系」技術、技能に関する職務に従事している者(機器の運転操作及びこれらに準ずる業務に従事している者で建築技術者、電気技術者、自動車運転手、工員、電話交換手等)		
8	「医療系」学生の健康管理の業務に従事している医師(教員は除く)、看護師、准看護師、助産師、薬剤師、栄養士並びに附属病院等に勤務する前記の職務に従事する者及びマッサージ、はり、あん摩、診療放射線技師、歯科衛生士、歯科技工士等	5月1日現在	半角数字(人数):8桁
10	「教務系」学生の実験、実習、実技若しくは演習の指導をしている者などで、教員でない者の数を記入する。したがって、実際の職務内容は、助手又はこれに準ずる者で助手として発令されていない者の数を記入する。なお、教務課などで事務に従事している者は、「事務系」欄に記入する。		
12	「その他」前記以外の者で、守衛、巡視、用務員、労務作業員、調理師等の業務に従事している者等		
5・7・9 11・13	<p>職種・勤務形態区分別による常勤以外の職員数。 職員数には、外国長期出張中等の者、休職者は含めて記入する。学内兼務の職員(当該組織以外に本務先のある職員)は除く。 職種は(常勤)の定義を参照。 「常勤以外」常勤以外の者で、当該組織の長又はその設置者から職員としての辞令を受け、または雇用契約を結んだ者であり、臨時職員(常勤的非常勤職員を含む。)や契約職員、アルバイト等を含む。</p>		

2-11 研究員 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名		大学等コード	
学部・研究科等名		学部・研究科等コード	

研究員数								
研究員区分								
受託研究員(*1)	共同研究員(*2)	博士研究員		博士課程研究員		研修員等(*7)	その他	合計
		JSPS(*3)	その他(*4)	JSPS(*5)	その他(*6)			
6	7	8	9	10	11	12	13	

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
6 ~ 13	<p>区分別による研究員数。 外国人研究員は含めるが、TA・RAは含めない。</p> <p>【研究員の区分】 受託研究員、共同研究員、博士研究員(日本学術振興会特別研究員)、博士研究員(その他)、博士課程(日本学術振興会特別研究員)、博士課程(その他)、研修員等、その他(その他の奨励金・助成金等取得者で研究員の身分を与えられている者、海外からの私費研究員、プロジェクト研究員等も含む。)</p> <p>*1:「受託研究員」 民間企業、国の機関、地方公共団体等における現職の研究者や技術者で、当該機関の受託研究員制度に基づき受け入れた者。</p> <p>*2:「共同研究員」 民間企業、国の機関、地方公共団体等との共同研究のために受け入れた研究員。</p> <p>*3:「博士研究員(JSPS)」 日本学術振興会特別研究員(PD、SPD、RPD)及びJSPS外国人特別研究員。</p> <p>*4:「博士研究員(その他)」 競争的資金で雇用されており、主たる業務が当該大学での研究活動である者。左記に該当する特任教員・客員教員等(本務教員以外の兼務教員)も含む。(*3に該当する者を除く)</p> <p>*5:「博士課程研究員(JSPS)」 博士課程に在籍し、日本学術振興会特別研究員(DC-1、DC-2)に採用されている者。</p> <p>*6:「博士課程研究員(その他)」 博士課程に在籍し、競争的資金により受け入れている又はその他奨励金・助成金等を受けている者。(間接経費で雇用された者を含む。*5に該当する者を除く)</p> <p>*7:「研修員等」 内地研究員、私学研修員、専修学校研修員、公立高等専門学校研修員、教員研修センター研修員、中国医学研修生、国連大学派遣研究員、ユネスコ国際大学院研修講座研修生などの各種研修員のうち、主に研究目的で受け入れている研修員は除く。</p> <p>*: JSPS(日本学術振興会)</p>	5月1日現在	半角数字(人数):5桁

3-1 学生(年次別) 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名	大学等コード
学部・研究科等名	学部・研究科等コード

項番	課程区分	昼夜区分	履修区分	学科・専攻等名	学科・専攻等コード	学生数	年次						留學生	社会人	
							1年	2年	3年	4年	5年	6年			合計
1	6	7	8	9	10	性別									
						男	1.1	1.3	1.5	1.7	1.9	2.1		2.3	2.5
2	6	7	8	9	10	女	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	2.2		2.4	2.6
						男	1.1	1.3	1.5	1.7	1.9	2.1		2.3	2.5
						女	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	2.2		2.4	2.6

項番6、7、9、10が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

この調査票のうち、年次別・男女別学生数は学校基本調査 様式第8号「学部学生内訳票」の「5 学科別学生数」及び学校基本調査 様式第9号「大学院学生内訳票」の「6 専攻別学生数」に、男女別社会人数は学校基本調査 様式第9号「大学院学生内訳票」の「6 専攻別学生数」左記のうち社会人」に準じており、数値を引用することが可能です。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6、7、8、10

【項番】	【項目定義】
6	課程区分 学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程 <プルダウン選択>
7	昼夜区分 昼間、夜間、昼夜 <プルダウン選択>
8	履修区分 通学、通信、多様なメディア <プルダウン選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
9	学科・専攻等名 組織登録票「0-3組織登録票(学科・専攻等)」に記載した組織名。		文字:60字
10	学科・専攻等コード 組織登録票「0-3組織登録票(学科・専攻等)」に記載したコード。		半角英数字:3桁または4桁
11-22	年次別・男女別学生数 年次:男女区分別による学生数。 休学者、社会人学生、外国人学生も含める。専攻科及び別科の学生、並びに科目等履修生、聴講生、選科生及び研究生の数は含まない。 [学生の年次による区分] (1-6年次) 年次は、原則として、入学年度を「1年次」とし、以後、休学、退学、転部・科又は当該年次における単位不足等特別の事情がない限り、「2年次」、「3年次」とする。 なお、修業年限が4年の学部では、4年を超えて在学している者は、最高年次の「4年次」に含めて記入し(5年、6年については4年に準ずる。)、修業年限が2年の研究科では、2年を超えて在学している者は、最高年次の「2年次」に含めて記入する。 また、博士課程(後期)及び一貫性課程(医歯学、薬学、獣医学関係の4年一貫性課程を除く。)の3・4・5年次は、1年次、2年次、3年次欄に記入する。調査年度に法科大学院の法学既習コースに入学した学生は2年次欄に記入する。 (「学校基本調査 様式第8号」学部学生内訳票、記入上の注意 5学科別学生数及び様式第9号「大学院学生内訳票、記入上の注意 6専攻別学生数」を参照のこと。)	5月1日現在	
23 24	男女別留學生数 男女別学生数合計のうち留學生の数。 「留學生」：留學生とは、日本の大学等に留学する目的を持って入国した外国人学生。すなわち、出入国管理及び難民認定法第2条の2別表第1の4に定める「留学」による在留資格によって、入国した者。なお、同法による他の在留資格によって入国し、その後所定の手続きを経て「留学」の資格に変更を許された者も留學生として取扱う。(「学校基本調査 様式第8号」学部学生内訳票、記入上の注意 11年齢別入学者数(8の再掲)または、学校基本調査 様式第9号「大学院学生内訳票、記入上の注意 10年齢別入学者数を参照)		半角数字(人数):6桁
25 26	男女別社会人 男女別学生数合計のうち社会人学生数。(学部生については記入を任意とする) 「社会人学生」：学生数のうち、社会人を専攻別に記入する。この欄には、5月1日において 職に就いている者(給料、賞金、報酬、その他経常的な収入を得る仕事に現に就いている者)、給料、賞金、報酬、その他経常的な収入を得る仕事から既に退職した者、主婦・主夫の数を記入する。 (「学校基本調査 様式第9号」大学院学生内訳票、記入上の注意 6専攻別学生数 「左記のうち社会人」を参照)		

3-2 学生(年齢別) 調査票

任意調査票

調査年度(西暦) _____

大学等名 _____ 大学等コード _____
 学部・研究科等名 _____ 学部・研究科等コード _____

行番号	課程区分	昼夜区分	履修区分	学科・専攻等名	学科・専攻等コード	年齢区分	学生数	年次												合計													
								1年		2年		3年		4年		5年		6年		留学生	社会人												
								留学生	社会人																								
1	6	7	8	9	10	-19歳	男	11	23	35	13	25	37	15	27	39	17	29	41	19	31	43	21	33	45								
							女	12	24	36	14	26	38	16	28	40	18	30	42	20	32	44	22	34	46								
						20~24歳	男	11	23	35	13	25	37	15	27	39	17	29	41	19	31	43	21	33	45								
							女	12	24	36	14	26	38	16	28	40	18	30	42	20	32	44	22	34	46								
						25~29歳	男	11	23	35	13	25	37	15	27	39	17	29	41	19	31	43	21	33	45								
							女	12	24	36	14	26	38	16	28	40	18	30	42	20	32	44	22	34	46								
						30~34歳	男	11	23	35	13	25	37	15	27	39	17	29	41	19	31	43	21	33	45								
							女	12	24	36	14	26	38	16	28	40	18	30	42	20	32	44	22	34	46								
						35~39歳	男	11	23	35	13	25	37	15	27	39	17	29	41	19	31	43	21	33	45								
							女	12	24	36	14	26	38	16	28	40	18	30	42	20	32	44	22	34	46								
						40~44歳	男	11	23	35	13	25	37	15	27	39	17	29	41	19	31	43	21	33	45								
							女	12	24	36	14	26	38	16	28	40	18	30	42	20	32	44	22	34	46								
						45~49歳	男	11	23	35	13	25	37	15	27	39	17	29	41	19	31	43	21	33	45								
							女	12	24	36	14	26	38	16	28	40	18	30	42	20	32	44	22	34	46								
						50~54歳	男	11	23	35	13	25	37	15	27	39	17	29	41	19	31	43	21	33	45								
							女	12	24	36	14	26	38	16	28	40	18	30	42	20	32	44	22	34	46								
						55~59歳	男	11	23	35	13	25	37	15	27	39	17	29	41	19	31	43	21	33	45								
							女	12	24	36	14	26	38	16	28	40	18	30	42	20	32	44	22	34	46								
						60歳~	男	11	23	35	13	25	37	15	27	39	17	29	41	19	31	43	21	33	45								
							女	12	24	36	14	26	38	16	28	40	18	30	42	20	32	44	22	34	46								
												合計	男	11	23	35	13	25	37	15	27	39	17	29	41	19	31	43	21	33	45		
													女	12	24	36	14	26	38	16	28	40	18	30	42	20	32	44	22	34	46		

項番6、7、9、10が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
 以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
 項番 6, 7, 8, 10

【項番】	【項目定義】
6	課程区分 学士・専攻科・別科・短期大学・短期大学(専攻科)・短期大学(別科)・高等専門学校・高等専門学校(専攻科)・修士課程・博士課程(前期)・博士課程(後期)・博士課程(一貫)・専門職学位課程 <フルタイム選択>
7	昼夜区分 昼間・夜間・昼夜 <フルタイム選択>
8	履修区分 通学・通信・多様なメディア <フルタイム選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
9	学科・専攻等名 組織登録票「0 - 3組織登録票(学科・専攻等)」で記載した組織名。		文字: 60字
10	学科・専攻等コード 組織登録票「0 - 3組織登録票(学科・専攻等)」で記載したコード。		半角英数字: 3桁または4桁
11 - 22	年次別・男女別・年齢区別別学生数 年次・男女・年齢区別による学生数を記入。 休学者、社会人学生、外国人学生も含める。専攻科及び別科の学生、並びに科目等履修生、聴講生、選科生及び研究生の数は含まない。 【学生の年次による区分】 (1~6年次) 年次は原則として、入学年度を「1年次」とし、以後、休学、退学、転部・科又は当該年次における単位不足等特別の事情がない限り、「2年次」、「3年次」とする。 なお、修業年限が4年の学部では、4年を超えて在学している者は、最高年次の「4年次」に含めて記入し(5年、6年については4年に準ずる)。修業年限が2年の研究科では、2年を超えて在学している者は、最高年次の「2年次」に含めて記入する。 また、修士課程(後期)及び一貫性課程(医歯学、工学、獣医学関係の4年一貫性課程を除く。)の3・4年次は、1年次、2年次、3年次欄に記入する。調査年度に法科大学院の法学既習コースに入学した学生は2年次欄に記入する。 (学校基本調査 様式第8号「学部学生内訳票」記入上の注意 5「学科別学生数」及び 様式第9号「記入上の注意 6「専攻別学生数」(年齢区分) -19歳、20~24歳、25~29歳、30~34歳、35~39歳、40~44歳、45~49歳、50~54歳、55~59歳、60歳~	5月1日現在	半角数字(人数): 6桁
23 - 34	年次別・男女別・年齢区別別留学生数 年次・男女・年齢区別による留学生数を内数で記入。 「留学生」：留学生とは、日本の大学等に留学する目的を持って入国した外国人学生、すなわち、出入国管理及び難民認定法第2条の2別表第104に定め「留学」による在留資格によって入国した者。なお、同法による他の在留資格によって入国し、その後所定の手続きを経て「留学」の資格に変更を許された者も留学生として取扱う。 (学校基本調査 様式第8号「記入上の注意 11「年齢別入学者数(8の再掲)又は学校基本調査 様式第9号「大学院学生内訳票」記入上の注意 10「年齢別入学者数を参照)		
35 - 46	年次別・男女別・年齢区別別社会人数 年次・男女・年齢区別による社会人数のうち社会人数を内数で記入。 「社会人学生」：調査年度の5月1日現在で「職に就いている者(給料、賞金、報酬、その他経常的な収入を得る仕事に現に就いている者)」、給料、賞金、報酬、その他経常的な収入を得る仕事から既に退職した者、主幹・主夫の者。 (学校基本調査 様式第9号「大学院学生内訳票」記入上の注意 6「専攻別学生数」(左記のうち社会人)を参照)		

3-3 科目等履修生等 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名	大学等コード
学部・研究科等名	学部・研究科等コード

行 番 号	課程区分	昼夜区分	履修区分	科目等履修生等数			
				科目等履修生等区分			合計
				聴講生	科目等履修生	研究生	
1	6	7	8	9	10	11	
2	6	7	8	9	10	11	
3	6	7	8	9	10	11	
4	6	7	8	9	10	11	
5	6	7	8	9	10	11	
6	6	7	8	9	10	11	
7	6	7	8	9	10	11	
8	6	7	8	9	10	11	
9	6	7	8	9	10	11	
10	6	7	8	9	10	11	

項番6、7が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなデータの登録が行えません。
項番 6、7、8

【項番】	【項目定義】
6	課程区分 学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程、その他 <プルダウン選択> いずれの課程にも分類できない場合は「その他」とする。
7	昼夜区分 昼間、夜間、昼夜 <プルダウン選択>
8	履修区分 通学、通信、多様なメディア <プルダウン選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
9・10・11	区分別・科目等履修生等 科目等履修生等区分別による科目等履修生等延べ人数。 【科目等履修生等の区分】 「聴講生(特別聴講生を含む)、科目等履修生、研究生(特別研究生を含む)」 「聴講生」 当該大学等の学生以外の者で、特定の授業科目を聴講する学生。学外の大学院に在学する学生で、授業科目を履修する特別聴講生も含む。 「科目等履修生」 当該大学等の学生以外の者で、特定の授業科目を履修し、単位修得を目的とする学生。 「研究生」 当該大学等の学生以外の者で、特定の事項について考究する学生。学外の大学院に在学する学生で、当該組織において研究指導を受ける特別研究生も含む。	5月1日現在	半角数字(人数):6桁

3-4 入試状況(春期・入試区別) 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)	
大学等名	大学等コード
学部・研究科等名	学部・研究科等コード

行番等	課程区分	昼夜区分	履修区分	学科・専攻等名	学科・専攻等コード	修業年限	入学定員	入試実施状況	入試区分														合計						
									一般		外国学校出身者特別選抜		社会人特別選抜		外国人留学生特別選抜		AO		附属校		推薦(公募)			推薦(指定校)		飛び入学		その他	
									1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		1	2	1	2	1	2
1	6	7	8	9	10	14.2	11	実施回数	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2			
								募集人員(数値)	13	19	26	37	39	45	52	58	65	71	78	84	91	97	104	110	117	123	130	136	
								志願者数	14	20	27	33	40	46	53	59	66	72	79	85	92	98	105	111	118	124	131	137	
								受験者数	15	21	28	34	41	47	54	60	67	73	80	86	93	99	106	112	119	125	132	138	
								合格者数	16	24	30	35	42	48	56	61	68	74	81	87	94	100	107	113	120	126	133	139	
								入学者数	17	25	30	36	43	49	56	62	69	75	82	88	95	101	108	114	121	127	134	140	
								入学者数	18	26	31	37	44	50	57	63	70	76	83	89	96	102	109	115	122	128	135	141	

入学者数を学科・専攻等単位でなく(学部・研究科単位で行っている場合は、学科・専攻等名を「直属」、学科・専攻等コードを「999」とし)各行に各値を入力する。調査年度前年の11月から調査年度の4月までに入試を経て入学した者を対象とする。

項番6、7、9、10が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6、7、8、10

項番	項目定義
6	課程区分 [プルダウン選択] 学士・専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程
7	昼夜区分 [プルダウン選択] 昼間、夜間、昼夜
8	履修区分 [プルダウン選択] 通学、通信、多様なメディア

項番	項目定義	基準目	[学二]形式
9	学科・専攻等名 組織登録票「0-3組織登録票(学科・専攻等)」に記載した組織名、学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等名」には「直属」を記入する。		文字:60字
10	学科・専攻等コード 組織登録票「0-3組織登録票(学科・専攻等)」に記載したコード、学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。		半角英数字:3桁または4桁
14.2	修業年限 課程を修了するために必要な期間(年数)		半角数字:2桁
11	入学定員 学科・専攻としての定員。入学時は学科・専攻等への所属が決まらぬ(複数の学科等でまとめて実施している)形で入試を行っている場合は、「直属」でまとめて記入。なお、入学定員が年度単位で定められていて春期・秋期分けて入力できない場合は、春期のみ入力し、秋期は空欄(Null値)とする。指標算出のため、原則として入力してください。		半角数字:5桁
12-25:38-51:64:77:90:103:116:129	入試区別実施回数 入試区別の入試試験(募集)の実施回数。たに入試前後期日程で行う入試の場合は2回、1次募集から3次募集まで行っている場合は3回。 [入試区分] 一般、外国学校出身者・帰国子女(生徒)特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び入学、その他、一貫一般入試、専門学校、総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等子女特別選抜、編入学など。		半角数字:3桁
13:19:26:32:39:45:52:58:65:71:78:84:91:97:104:110:117:123:130:136	入試区別募集人員(数値) 入試区別の募集人員。募集人員について確定した数字のない場合は、「(文字)欄」に「若干名」など簡便な表現を記入し、「(数値)欄」は空欄(Null値)とする。たに入試前後期合わせて募集人員を定めているときは、1回目の「(文字)欄」に「前後期合わせて#名」と記入する。 入試区分は「入試区別実施回数」の項目定義参照。		半角数字(人数):6桁
14:20:27:33:40:46:53:59:66:72:79:85:92:98:105:111:118:124:131:137	入試区別募集人員(文字) 入試区別の募集人員。募集人員について確定した数字のない場合は、「(文字)欄」に「若干名」など簡便な表現を記入し、「(数値)欄」は空欄(Null値)とする。たに入試前後期合わせて募集人員を定めているときは、1回目の「(文字)欄」に「前後期合わせて#名」と記入する。 入試区分は「入試区別実施回数」の項目定義参照。	調査年度春期に入学した者	文字:20字
15:21:28:34:41:47:54:60:67:73:80:86:93:99:106:112:119:125:132:138	入試区別志願者数 入試区別の志願者数。同じ組織に対して、異なる入試区分で複数志願した場合は、それぞれの集計に含める。入試区分は「入試区別実施回数」の項目定義参照。		
16:22:29:35:42:48:55:61:68:74:81:87:94:100:107:113:120:126:133:139	入試区別受験者数 入試区別の受験者数。同じ組織に対して、異なる入試区分で複数受験した場合は、それぞれの集計に含める。入試区分は「入試区別実施回数」の項目定義参照。		半角数字(人数):6桁
17:23:30:36:43:49:56:62:69:75:82:88:95:101:108:114:121:127:134:140	入試区別合格者数 入試区別の合格者数。入試区分は「入試区別実施回数」の項目定義参照。		
18:24:31:37:44:50:57:63:70:76:83:89:96:102:109:115:122:128:135:141	入試区別入学者数 入試区別の入学者数。入学手続を、(前)年度までに進学・除籍した者は除く。入試区分は「入試区別実施回数」の項目定義参照。		

3-5 入試状況(秋期・入試区別) 調査票

調査年度(西暦)	
大学等名	大学等コード
学部・研究科等名	学部・研究科等コード

定員	課程区分	昼夜区分	履修区分	学科・専攻等名	学科・専攻等コード	修業年限	入学定員	入試実施状況	入試区分														合計						
									一般		外国学校出身者等特別選抜		社会人特別選抜		外国人留学生特別選抜		AO		附属校		推薦(公募)			推薦(指定校)		飛び入学		その他	
									1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		1	2	1	2	1	2
1	6	7	8	9	10	142	11	実施回数	12	23	5	64	77	92	132	116	129												
								募集人員(数値)	13	19	26	32	39	45	52	58	65	71	78	84	91	97	104	110	117	123	130	136	
								(文字)	14	20	27	33	40	46	53	59	66	72	79	85	92	98	105	111	118	124	131	137	
								志願者数	15	21	28	34	41	47	54	60	67	73	80	86	93	99	106	112	119	125	132	138	
								受験者数	16	22	29	35	42	48	55	61	68	74	81	87	94	100	107	113	120	126	133	139	
								合格者数	17	23	30	36	43	49	56	62	69	75	82	88	95	101	108	114	121	127	134	140	
								入学者数	18	24	31	37	44	50	57	63	70	76	83	89	96	102	109	115	122	128	135	141	

入学審査を学科・専攻等単位でなく(学部・研究科単位で行っている場合は、学科・専攻等名を「直属」、学科・専攻等コードを「999」とした)に各値を入力する。調査年度の5月から10月までに入試を経て入学した者を対象とする。

項番6、7、9、10が組織登録票と一致していないは調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6、7、8、10

項番	項目定義
6	課程区分 学士・専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程 <プルダウン選択>
7	昼夜区分 昼間、夜間、昼夜 <プルダウン選択>
8	履修区分 通学、通信、多様なメディア <プルダウン選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

項番	項目定義	標準目	データ形式
9	学科・専攻等名	組織登録票「0-3組織登録票(学科・専攻等)」に記載した組織名。	文字: 60字
10	学科・専攻等コード	組織登録票「0-3組織登録票(学科・専攻等)」に記載したコード。	半角英数字: 3桁または4桁
142	修業年限	課程を修了するために必要な期間(年数)	半角数字: 2桁
11	入学定員	学科・専攻としての定員。 入学誌は学科・専攻等への所属が決まらない(複数の学科等でまとめて実施している)形で入試を行っている場合は、「直属」でまとめて記入。 なお、入学定員が年度単位で定められていて春期・秋期分けて入力できない場合は、春期のみ入力し、秋期は空欄(Null値)とする。指標算出のため、原則として入力してください。	半角数字: 5桁
12-25-38-51-64-77-98-103-116-129	入試区別別実施回数	入試区別別の入試試験(募集)の実施回数。 たとえ前後期日程で行う入試の場合は2回、1次募集から5次募集まで行っている場合は5回。 [入試区分] 一般、外国学校出身者特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び入学、その他 「その他」は「一般入試、専門学校、総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等女子特別選抜、編入学など。」	半角数字: 3桁
13-19-26-32-39-45-52-58-65-71-78-84-91-97-104-111-117-123-130-136	入試区別別募集人員(数値)	入試区別別の募集人員。 募集人員について確定した数字のない場合は、「文字」欄に「若干名」など簡便な表現を記入し、「数値」欄は空欄(Null値)とする。たとえ、前後期合わせて募集人員を定めているときは、両目の「文字」欄に「前後期合わせてx名」と記入する。 入試区分は「入試区別別実施回数」の項目定義参照。	半角数字(人数): 6桁
14-20-27-33-40-46-53-59-66-72-79-85-92-98-105-111-118-124-131-137	入試区別別募集人員(文字)		文字: 20字 調査年度秋期に入学した者
15-21-28-34-41-47-54-60-67-73-80-86-93-99-106-113-119-125-132-138	入試区別別志願者数	入試区別別の志願者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分で複数志願した場合も、それぞれの集計に含める。 入試区分は「入試区別別実施回数」の項目定義参照。	
16-22-29-35-42-48-55-61-68-74-81-87-94-100-107-114-121-127-134-140	入試区別別受験者数	入試区別別の受験者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分で複数受験した場合も、それぞれの集計に含める。 入試区分は「入試区別別実施回数」の項目定義参照。	半角数字(人数): 6桁
17-23-30-36-43-49-56-62-69-75-82-88-95-101-108-115-122-128-135-141	入試区別別合格者数	入試区別別の合格者数。 入試区分は「入試区別別実施回数」の項目定義参照。	
18-24-31-37-44-50-57-63-70-76-83-89-96-102-109-115-122-128-135-141	入試区別別入学者数	入試区別別の入学者数。 入試区分は「入試区別別実施回数」の項目定義参照。	

3-7 学部等入試状況(前歴別) 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名		大学等コード	
学部等名		学部等コード	

行 番 号	課程区分	昼夜区分	履修区分	入試実施状況		前歴区分									
						2017年度	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度以前	外国学校卒業	専修学校	その他		合計
				高等学校卒業	高等学校卒業	高等学校卒業	高等学校卒業	(高卒認定等)							
1	6	7	8	入学志願者数	男	9	13	17	21	25	29	33	37		
					女	10	14	18	22	26	30	34	38		
				入学者数	男	11	15	19	23	27	31	35	39		
					女	12	16	20	24	28	32	36	40		

この調査票のうち、前歴区分別入学者数 外国学校卒業、専修学校高等課程卒、その他(高卒認定等)は学校基本調査 様式第8号「学部学生内訳票」の「11 年齢別入学」の「本調査票は、「学士」の課程区分で使用、

項番6、7が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6、7、8

【項番】	【項目定義】	
6	課程区分	学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程 <プルダウン選択>
7	昼夜区分	昼間、夜間、昼夜 <プルダウン選択>
8	履修区分	通学、通信、多様なメディア <プルダウン選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
9・10・13・14・17・18・21・22・25・26・29・30・33・34・37・38	前歴区分・男女別入学志願者数		
11・12・15・16・19・20・23・24・27・28・31・32・35・36・39・40	前歴区分別・男女別入学者数	5月1日現在	半角数字(人数):8桁

前歴区分・男女別による入学志願者数。
同じ組織に対して、異なる入試区分で複数志願した場合も、それぞれの集計に含める。
学内で幾つかの学部の志願を認めていて、試験の結果第二志望の学部に入学者の場合は、入学した第二志望の学部の「入学志願者」とする。
前歴とは、当該組織の受験資格を得た経歴をいう。
「外国学校卒業、学校教育法施行規則第150条第1号に定める「外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者」を計上する。
「専修学校高等課程卒、学校教育法施行規則第150条第3号に定める「専修学校高等課程の修了者」を計上する。
「その他(高卒認定等)」上記以外のもので学校教育法施行規則第150条に定める者(卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者)等を計上する。
(学校基本調査 様式第8号「学部学生内訳票」記入上の注意 11年年齢別入学者数(8の再掲)を参照)

前歴区分・男女別による入学者数。
学内で幾つかの学部の志願を認めていて、試験の結果第二志望の学部に入学者の場合は、入学した第二志望の学部の「入学者」とする。
前歴とは、当該組織の受験資格を得た経歴をいう。
「外国学校卒業、学校教育法施行規則第150条第1号に定める「外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者」を計上する。
「専修学校高等課程卒、学校教育法施行規則第150条第3号に定める「専修学校高等課程の修了者」を計上する。
「その他(高卒認定等)」上記以外のもので学校教育法施行規則第150条に定める者(卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者)等を計上する。
(学校基本調査 様式第8号「学部学生内訳票」記入上の注意 11年年齢別入学者数(8の再掲)を参照)

3-8 大学院入試状況(前歴別) 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名	大学等コード
学部等名	学部等コード

行 番 号	課程区分	昼夜区分	履修区分	専攻等名	専攻等 コード	入試実 施状況	入学志願者数						合計	入学者数								
							当該 大学	他大学出身者			外国の 学校卒	その他		当該 大学 出身者	他大学出身者			外国の 学校卒	その他	合計		
								性別	国立	公立					私立	国立	公立				私立	
1	6	7	8	9	10		男	11	13	15	17	19	21		23	25	27	29	31	33		
							女	12	14	16	18	20	22		24	26	28	30	32	34		
	合計						男															
							女															

この調査票は、学校基本調査 様式第9号「大学院学生内訳票」の「9 入学状況」に準じており、数値を引用することが可能です。
この調査票は、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程で使用。
項番 6、7、9、10 が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6、7、8、10

【項番】	【項目定義】
6	課程区分 学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程 <プルダウン選択>
7	昼夜区分 昼間、夜間、昼夜 <プルダウン選択>
8	履修区分 通学、通信、多様なメディア <プルダウン選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
9	専攻等名 組織登録票「0-3 組織登録票(学科・専攻等)」に記載した組織名。		文字:60字
10	専攻等コード 組織登録票「0-3 組織登録票(学科・専攻等)」に記載したコード。		半角英数字:3桁または4桁
11-22	前歴区分・男女別入学志願者数 前歴区分別・男女別による入学志願者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分で複数志願した場合も、それぞれの集計に含める。 試験の結果第二志望の専攻に入学した場合は、入学した第二志望の専攻の「入学志願者」とする。 前歴とは、当該組織の受験資格を得た経歴をいう。 【前歴区分】 当該大学出身者、他大学卒業(国立、公立、私立)、外国学校卒、その他 【当該大学出身者】 修士課程、博士課程(前期)、博士課程(一貫)及び専門職学位課程では当該大学の学部を、博士課程(後期)では当該大学の修士課程又は博士課程(前期)を卒業または修了した者をいう。 【他大学出身者(国立、公立、私立)】 他の大学(国立、公立、私立)を卒業・修了した者。 【外国の学校卒】 学校教育法施行規則第155条第1項第2号の規定による「外国において学校教育における16年(医学、歯学、薬学(6年制学部・学科に基礎を置く大学院)又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した者」をいう。 【その他】 学校教育法施行規則第155条第1項第1号、第3号、第4号、第5号、第6号、第7号、第8号の規定による者をいう。 (学校基本調査 様式第9号「大学院学生内訳票」 記入上の注意 9 入学状況を参照)	5月1日現在	
23-34	前歴区分別・男女別入学者数 前歴区分別・男女別による入学者数。 試験の結果第二志望の専攻に入学した場合は、入学した第二志望の専攻の「入学者」とする。 前歴とは、当該組織の受験資格を得た経歴をいう。 【前歴区分】 当該大学出身者、他大学卒業(国立、公立、私立)、外国学校卒、その他 【当該大学出身者】 修士課程、博士課程(前期)、博士課程(一貫)及び専門職学位課程では当該大学の学部を、博士課程(後期)では当該大学の修士課程又は博士課程(前期)を卒業または修了した者をいう。 【他大学出身者(国立、公立、私立)】 他の大学(国立、公立、私立)を卒業・修了した者。 【外国の学校卒】 学校教育法施行規則第155条第1項第2号の規定による「外国において学校教育における16年(医学、歯学、薬学(6年制学部・学科に基礎を置く大学院)又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した者」をいう。 【その他】 学校教育法施行規則第155条第1項第1号、第3号、第4号、第5号、第6号、第7号、第8号の規定による者をいう。 (学校基本調査 様式第9号「大学院学生内訳票」 記入上の注意 9 入学状況を参照)		半角数字(人数):8桁

3-9 編入学者 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名	大学等コード
学部等名	学部等コード

行 番 号	課程区分	昼夜区分	履修区分	編入者数 性別	編入元							
					短期大学		高等専門学校		専修学校 (専門課程)		合計	
					2年次	3年次	2年次	3年次	2年次	3年次	2年次	3年次
1	6	7	8	男	9	11	13	15	17	19		
				女	10	12	14	16	18	20		

この調査票は、学校基本調査 様式第8号「学部学生内訳票」の「13 短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程)・高等学校等専攻科からの編入学者数」に準じており、数値を引用することが可能
この調査票は、「学士」の課程区分で使用。
項番6、7が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6、7、8

[項番]	[項目定義]
6	課程区分 学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程 <ブルダウ選択>
7	昼夜区分 昼間、夜間、昼夜 <ブルダウ選択>
8	履修区分 通学、通信、多様なメディア <ブルダウ選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
9 ~ 20	<p>年次別・男女別・編入元区分別編入者数</p> <p>編入元区分・編入年次・男女別による編入者数。 調査年度に短期大学、高等専門学校、及び専修学校(専門課程)から編入学した者の数を編入学した年次別に記入する。 社会人、他大学からの編入は含めない。 【編入元区分】 当該組織に編入した学生の編入元を区別。 短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) なお、編入元が高等学校(専攻科)、中等教育学校(専攻科)、特別支援学校(専攻科)の者の数は記入しない。 【編入年次】 編入先での年次。(編入した年次:2年次、3年次)</p> <p>(学校基本調査 様式第8号「学部学生内訳票」記入上の注意 13短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程)・高等学校等専攻科からの編入学者数を参照)</p>	5月1日現在	半角数字(人数):8桁

(2019.7.22改訂)

4-1 単位修得 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名		大学等コード	
学部・研究科等名		学部・研究科等コード	

行	昼夜区分	履修区分	授業科目名	授業科目コード	履修登録者数	単位修得者数	不合格者数
1	6	7	8	9	10	11	12
合計							

複数の学部・研究科にまたがる授業科目や、全学共通の授業科目に関しては、学部・研究科名として「直属」、学部・研究科等コードとして「999」を用いたシートに入力する。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6、7、8

【項番】	【項目定義】	
6	昼夜区分	昼間、夜間、昼夜 <ブルダウン選択>
7	履修区分	通学、通信、多様なメディア <ブルダウン選択>

【項番】	【項目定義】		【基準日】	【データ書式】
8	授業科目名	科目の名称。同一名称の科目があった場合は、大学等で適宜文字(番号・担当者名等)を加え、違いがわかるようにする。	調査年度実績	文字:200字
9	授業科目コード	各大学等が独自に定めたコード。任意項目。		半角英字:10字
10	履修登録者数	履修登録した者の数。他学部・研究科の学生の履修を制限していない科目の場合、他学部・研究科からの履修登録者も含めて記入する。 また、異なる課程(学部と修士、修士と博士など)の学生の履修を制限していない科目の場合、全課程の履修登録者を合計して記入する。		半角数字(人数):6桁
11	単位修得者数	履修登録し、単位を修得した者の数。 既に他の大学等で修得し、当該大学の修得単位として認定された者(既修得単位認定)は含めない。		
12	不合格者数	単位修得審査の結果、不合格となった者の数。「評価なし」の者は「不合格者数」に含めない。 「履修登録者数」-「単位修得者数」-「不合格者数」=「評価なし」		

(2016.03.01改訂)

4-2 他大学との単位互換の実績 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名	<input type="text"/>	大学等コード	<input type="text"/>
学部・研究科等名	<input type="text"/>	学部・研究科等コード	<input type="text"/>

行	課程区分	昼夜区分	履修区分	互換先大学等名	互換先大学等コード	履修者数	単位修得者数
1	6	7	8	9	10	11	12
合計							

項番6、7が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6、7、8、10

[項番]	[項目定義]	
6	課程区分	学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程 <プルダウン選択>
7	昼夜区分	昼間、夜間、昼夜 <プルダウン選択>
8	履修区分	通学、通信、多様なメディア <プルダウン選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

[項番]	[項目定義]		[基準日]	[データ書式]
9	互換先大学等名	単位互換を実施している相手先大学等の名称。	調査年度実績	文字:60字
10	互換先大学等コード	機構が配付するコード表による。 なお、相手先がコード表で規定されていない外国の大学等である場合については、名称「その他外国の大学」、コード「Z999」として年度ごとに合計数を入力すること。また、相手先がコード表で規定されていない国内の大学等である場合については、当機構担当者へ連絡すること。		半角英数字:4桁
11	履修者数	互換先大学等で単位を履修申告した者の延べ数。		半角英数字(人数):6桁
12	単位修得者数	互換先大学等で単位を修得した者の延べ数。		

(2019.7.22改訂)

4-3 学位授与 調査票

共通調査票

調査年度（西暦）

大学等名	大学等コード
学部・研究科等名	学部・研究科等コード

行番号	学位名称	学位授与状況								備考
		学位区分								
		学士	修士	博士			専門職学位		短期大学士	
課程博士	論文博士			博士合計	修士	法務博士				
1	6	7	8	9	10		11	12	13	14
	合計									

各学位の授与件数は、昼夜区分・履修区分によらない合計数を記入すること。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
6	学位名称 授与する学位及び称号の名称(付記される専攻分野も名称に含めること)。 修士(工学)、博士(医学)、 修士(専門職)、法務博士(専門職)等	調査年度実績	学位名称(文字:60字) 学位授与件数(半角数字(人数):6桁)
7	学士 学位名称が学士に相当する場合のみ件数を記入。		
8	修士 学位名称が修士に相当する場合のみ件数を記入。		
9	課程博士 学位名称が博士に相当する場合のみ件数を記入。		
10	論文博士 学位名称が博士に相当する場合のみ件数を記入。		
11	専門職修士 学位名称が修士(専門職)に相当する場合のみ件数を記入。		
12	専門職法務博士 学位名称が法務博士(専門職)に相当する場合のみ件数を記入。		
13	短期大学士 学位名称が短期大学士に相当する場合のみ件数を記入。		
14	備考 300文字以内 指定した名称の学位について、備考がある場合は記入すること。		文字:300字

(2016.03.01改訂)

4-4 修士論文・博士論文等題目一覧 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名	<input type="text"/>	大学等コード	<input type="text"/>
研究科等名	<input type="text"/>	研究科等コード	<input type="text"/>

行	課程区分	昼夜区分	履修区分	専攻等名	専攻等コード	修士論文・博士論文等題目
1	6	7	8	9	10	11

本調査票は、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程で使用。
 項番6、7、9、10が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
 以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
 項番 6、7、8、10、11

【項番】	【項目定義】	
6	課程区分	学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程 <プルダウン選択>
7	昼夜区分	昼間、夜間、昼夜 <プルダウン選択>
8	履修区分	通学、通信、多様なメディア <プルダウン選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
9	専攻等名	調査年度実績	文字:60字
10	専攻等コード		半角英数字:3桁または4桁
11	修士論文・博士論文等題目		文字:1000字

学位取得論文の題目を1論文ごとに記入する。
 同一題目の論文がある場合には、通し番号を振るなどして区別できるようにすること。(一意性が実現できれば、通し番号に限らず、審査受け番号や著者の学籍番号、著者のイニシャルなどを付加する等、工夫すること。ただし個人情報の保護には留意すること。)
 博士論文には論文博士の者も含む。
 その場合、専攻は学位審査の実質担当部局とする(研究科または大学で実質的な審査を行う場合は、「直属:999」を用いる。)

(2019.7.22改訂)

4-5 学生(休学者・退学者・転部転科者・留年者) 調査票

共通調査票

調査年度(西暦) _____

大学等名 _____ 大学等コード _____
 学部・研究科等名 _____ 学部・研究科等コード _____

行	課程区分	昼夜区分	履修区分	年次							
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計	
1	6	7	8	休学者数	9	10	11	12	13	14	
				退学者・除籍者数	15	16	17	18	19	20	
				留年者数	21	22	23	24	25	26	
				転科(専攻)者数	27	28	29	30	31	32	
				転部(研究科)者数	33	34	35	36	37	38	
					39	40	41	42	43	44	

項番 6、7 が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
 以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
 項番 6、7、8

【項番】	【項目定義】
6	課程区分 学士・専攻科・別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程 <プルダウン選択>
7	昼夜区分 昼間、夜間、昼夜 <プルダウン選択>
8	履修区分 通学、通信、多様なメディア <プルダウン選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
9～14	年次別休学者数 年次別の休学者数を記入する。 この項目は学校基本調査 様式第8号「学部学生内訳票」の「6学科別学生数のうち休学者数」及び様式第9号「大学院学生内訳票」の「7専攻別学生数のうち休学者数」に準じており、数値を引用することが可能です。 [年次区分] 休学期に年次が上がる場合には、休学した年次ではなく、調査時点での年次とする。 標準修業年限が4年の場合、「5年次」、「6年次」の欄は使用しない。標準修業年限を越えている者は、修業年限が4年の学部については「4年次」の欄に含む(他の修業年限については4年に準ずる)。	5月1日現在	半角数字(人数);8桁
15～20	年次別退学者・除籍者数 年次別の退学者・除籍者数を記入する。 ただし、大学院博士課程(後期)及び博士課程(一貫)の卒業者のうち、所定の年限以上在学し、所定の単位を修得したが博士の学位を取得しなかった、いわゆる満期退学者は退学者・除籍者に含めない。 同一年度内に留年し、退学した者は両方に計上する。 [年次区分] 退学または除籍した年次とする。 標準修業年限が4年の場合、「5年次」、「6年次」の欄は使用しない。4年次まで連続し標準修業年限を越えて退学または除籍した者は、「4年次」の欄に含む。	調査年度実績	
21～26	年次別留年者数 年次別の留年者数を記入する。 同一年度内に留年し、退学した者は両方に計上する。 [年次区分] 留年者数の留年した年次は、例えば「3年次」の場合は、3年次から4年次へ進級できなかったことを示す。 休学して原級留置となった者は含めない。 年次毎の進級制度をとっていない場合は、進級判定を行う年次のみ記入(例:1年次から2年次への進級判定しか行わないならば1年次の欄のみ、4年次で卒業判定しか行わないならば4年次の欄のみなど)。		
27～32	年次別転科者数(転入出) 年次別の転科者数(転入出)を記入する。(自学部内での学科(専攻)間の転入・転出) 昼夜区分を異にする転科者などについては転出のみ記入する。 [年次区分] 転科した年次とする。 標準修業年限が4年の場合、「5年次」、「6年次」の欄は使用しない。標準修業年限を越えている者は、修業年限が4年の学部については「4年次」の欄に含む(他の修業年限については4年に準ずる)。		
33～38	年次別転部者数(転入) 年次別の転部者数(転入)を記入する。(学内他学部(研究科)から当該組織への転入) [年次区分] 年次別転科者数(転入出)の定義を参照。		
39～44	年次別転部者数(転出) 年次別の転部者数(転出)を記入する。(当該組織から学内他学部(研究科)への転出) [年次区分] 年次別転科者数(転入出)の定義を参照。		

4-6 学生（取得資格）調査票

共通調査票

調査年度（西暦）

大学等名	大学等コード
学部・研究科等名	学部・研究科等コード

行	課程区分	昼夜区分	履修区分	資格名	資格コード	在学・卒業（修了）者中の学生資格取得者数		その他資格名
						受験者数（申請者数）	合格者数（取得者数）	
1	6	7	8	9	10	11	12	13

項番 6、7 が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6、7、8、9、10

【項番】	【項目定義】
6	課程区分 学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学（専攻科）、短期大学（別科）、高等専門学校、高等専門学校（専攻科）、修士課程、博士課程（前期）、博士課程（後期）、博士課程（一貫）、専門職学位課程 <プルダウン選択>
7	昼夜区分 昼間、夜間、昼夜 <プルダウン選択>
8	履修区分 通学、通信、多様なメディア <プルダウン選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
9、10、11、13	<p>【資格名、資格コード】 資格名は直接入力不可。資格コードを入力すると、その資格コードに該当する資格名が自動的に設定される。資格コードは、資格コード表参照。 コード一覧に無い資格名称を記入する場合は、資格コード「9999」を選択して資格名を「その他」にし、当該資格名を「その他資格名」欄に記入する。</p> <p>資格名(含コード)別・在学者・卒業修了者中の受験者数（申請者数） 資格別の受験者数（申請者数）。その取得が学部・研究科の教育目的に強く関連している資格のみに限定して記入する。調査年度において当該組織に在籍した学生のうち、調査年度中に受験（申請）した者を対象とする。ただし、資格コード表のうち、1に記載の資格（新司法試験、公認会計士等）については、調査年度に在籍者に限らずに、過去に当該組織に在籍した学生のうちで、調査年度において受験した者の数（申請した者の数）を記入する。 組織として受験者数を把握していない場合には、記入しなくても良い。 また、大学での特定の科目の単位取得や卒業を条件に、試験を実施せずに授与される資格・免許の場合には、申請者数を記入する。</p> <p>資格のうち教員免許については、「0101：教員免許全体」において「0102：小学校」～「0110：栄養教諭免許」、「0112：特別支援学校」のいずれかの教員免許取得者全体の実人数（延べ人数ではない）を記入し、これとは別に「0102：小学校」～「0110：栄養教諭免許」、「0112：特別支援学校」の各免許取得者の実人数を別の行を設けて記入する。なお、「0111：司書教諭」は「0101：教員免許全体」に含めずに別途記入する。 例）同一の学生が中学と高校の教員免許を取得した場合は、「0101：教員免許全体」に「1」、「0103：中学校」に「1」、「0104：高等学校」に「1」を計上する。</p> <p>「教員免許取得状況及び教員就職状況の調査について」の 教員免許取得状況 第1表 学校種別教員免許取得状況「免許状取得者実数」参照。</p>	調査年度実績 (合格発表の時期に依らず、調査年度中の受験者を対象とする)	資格名(資格コードより：自動入力) 資格コード(半角数字：4桁) 受験者数(申請者数)・合格者数(取得者数) (半角数字(人数)：6桁)
12	<p>資格名(含コード)別・在学者・卒業修了者中の合格者数（取得者数） 資格名別の合格者数。その取得が、学部・研究科の教育目的に強く関連している資格のみに限定して記入する。上記の調査年度受験者のうちで、合格して資格を取得した者の数。なお、資格コード表のうち、1に記載の資格（新司法試験、公認会計士等）については、受験者数と同様に、調査年度に在籍者に限らずに過去に当該組織に在籍した学生のうちで、調査年度において受験して合格した者の数を記入する。</p>		

4-7 卒業・修了者調査票

共通調査票

調査年度(西暦)	
大学名称	大学等コード
学部・研究科等名称	学部・研究科等コード

課程区分	昼夜区分	履修区分	学科・専攻等名	学科専攻等コード	修業年限	進路別 卒業者数													入学年度別 卒業者数										合計																																											
						進学						就職者等(進学した者を除く)			臨床研修医(予定者を含む)	入籍学者学校(外国の学校等)	J		死亡・不詳の者	合計(a)	(再掲)		大学院博士課程の計(a)のうち(再掲)																																																	
						A	B	C	D	E	F	G	H	I			進学準備中の者	その他			自営業(当期専業主用労働者)	専業主用労働者	20	21	22	23	24	25		26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42																										
6	7	8	9	10	79	11	13	15	17	19	21	23	25	27	31	33	35	37	39	41	43	45	47	49	51	53	55	57	59	61	63	65	67	69	71	73	75	77	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48	50	52	54	56	58	60	62	64	66	68	70	72	74	76	78

この調査票は、学校基本調査 様式第30号「卒業後の状況調査票(2-1)」に準じており、調査年度の翌年度に実施した学校基本調査から数値を引用することが可能です。項目6, 7, 9, 10が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
以下の項目に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項目 6, 7, 8, 10

〔項目〕	〔項目定義〕
6	学士・専攻科・別科、短期大学・短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程<ブルダウ>選択。別科については任意とする。
7	昼間、夜間、昼夜<ブルダウ>選択。
8	通学、通信、多様なメディア<ブルダウ>選択。<フェロイト>通学、を入力していますが、適宜ご変更ください。

〔項目〕	〔項目定義〕	〔基準目〕〔データ形式〕
9	組織登録票「0-3組織登録票(学科・専攻等)」で記載した組織名。	文字:60字
10	組織登録票「0-3組織登録票(学科・専攻等)」で記載したコード。	半角英数字:3桁または4桁
79	課程を修了するために必要な期間(年数)、採擇算出のため、原則として入力してください。	半角数字:1桁または2桁
11-56	進路先区分:男女別の卒業・修了者数。 調査年度中に当該学校を卒業した者について、調査年度の翌年度5月1日時点の状況を記載する。 本調査における卒業者とは、大学学部、大学院研究科の卒業者をいい、別科等の修了者は除外する。 なお、大学院研究科においては、所定の年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ学位論文の審査及び最終試験に合格した者を用い、ただし、博士課程については、所定の年限以上在学し、所定の単位を修得した者が博士の学位を取得しなかった者で、調査年度中における満期退学した者も、便宜卒業者として含めて記入する。 <学生の進路先を表す区分> 進学(大学院研究科、大学学部、短期大学本科、専攻科、別科)、就職者、臨床研修医、専修学校、外国の学校等入学者、一時的な仕事に就いた者、左記以外の者、死亡・不詳の者、進学した者のうち就職している者、大学院博士課程のうち満期退学者、大学院博士課程のうちポストドクター等) (就職者等)給料、賞金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事(自家・自営業を含む)に就いた者及び臨時的收入を得る仕事に就いた者を用い、なお、「大学院研究科等」に区分される者で、かつ職に就いている者については、ここは含めず、「進学した者(A-E)のうち就職している者」に再掲して計上する。 (自営業専任)個人経営の事業を営んでいる者及び家族の営む事業に継続的に本業として従事する者を用い、 (長期雇用労働者)雇用契約期間の定めのないものとして就職した者を用い、 (H)長期雇用労働者(雇用契約期間が1か月以上の者)雇用契約期間が1か月以上で期間の定めのある者であり、このうち、雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者であり、かつ1週間の所定の労働時間がおおむね40-30時間程度の者については、「長期雇用労働者(H)のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者」にも再掲して計上する。 (臨時労働者)雇用契約期間が1か月未満で期間の定めのある者を用い、なお、労働者派遣法に基づく派遣労働者は、「長期雇用労働者」には計上せず、「短期雇用労働者(雇用契約期間が1か月以上の者)」又は「臨時労働者」に計上すること。 (臨床研修医(予定者を含む))医師法第16条の2及び歯科医師法第16条の2に基づき臨床研修を受ける者の数を記入する。また、調査年度の翌年度5月1日現在、臨床研修年度となることが予定されている者もここに含めて記入する。 (専修学校、外国の学校等入学者(A-E)以外の者)学校、その他教育施設に入学(在籍)している者を記入する。例えば、研究として入学した者、専修学校、各種学校、外国の学校及び職業能力開発校への入学者がここに含まれる。 (一時的な仕事に就いた者)臨時的收入を目的とする仕事に就いた者であり、雇用の期間が1年未満又は雇用の長さにかかわらず短期間勤務の者を用い、 (左記以外の者)進学でも就職でもないことが明らかでない「進学準備中の者」、「就職準備中の者」、「その他」に分けて記入する。家事の手伝いはこちらに含まれる。なお、「就職準備中の者」には、求職中の者並びに公務員・教員採用試験及び国家資格試験の準備中である者が含まれる。 (死亡・不詳の者)死亡の者を記入する。不詳とは、上記の各欄いずれに該当するか学校で把握していない者を用い、また、死亡とは、卒業者のうち調査年度の翌年度5月1日までに死亡した者を用い、 (進学した者(A-E)のうち就職している者(A-E)のうち、就職している者を再掲して記入する。この場合の「就職している者」には、自営業専任、長期雇用労働者、短期雇用労働者、雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者であり、長期雇用労働者でも雇用契約期間が1年未満の者又は短期間勤務の者、臨時労働者は含まない。 (大学院博士課程の計(a)のうち(再掲)) 満期退学者(中には大学院の博士課程(後期)及び博士課程(一貫)の卒業者のうち、所定の年限以上在学し、所定の単位を修得したが博士の学位を取得しなかった、いわゆる満期退学者を再掲して記入する。また、「ポストドクター等(満期退学者を含む)」、欄には「H長期雇用労働者(雇用契約期間が1か月以上の者)」、「I臨時労働者」、「J左記以外の者」に記入した者のうちポストドクター等の数をそれぞれ再掲して記入する。 (ポストドクター等)博士の学位を取得した者又は所定の単位を修得の上博士課程を退学した者(いわゆる「満期退学者」)のうち、任期付で採用されている者で、「大学や大学共同利用機関で研究業務に従事している者」である者で、教授・准教授・助教・助手等の学校教育法第92条に基づき「教育」研究に従事する職にない者、又は、独立行政法人等の公的研究機関(国立試験研究機関、公的研究機関を含む。)において研究業務に従事している者のうち、所属する研究グループのリーダー・主任研究員等の管理的職にない者を用い、	調査年度 の翌年度 5月1日 現在 半角数字(人数):6桁
57-78	入学年度区分:男女別の卒業・修了者数。 調査年度中に当該学校を卒業した者について、調査年度の翌年度5月1日時点の状況を記載する。 本調査における卒業者とは、大学学部、大学院研究科の卒業者をいい、別科等の修了者は除外する。 なお、大学院研究科においては、所定の年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ学位論文の審査及び最終試験に合格した者を用い、ただし、博士課程については、所定の年限以上在学し、所定の単位を修得した者が博士の学位を取得しなかった者で、調査年度中における満期退学した者も、便宜卒業者として含めて記入する。 (入学年度)調査年度中に当該学校を卒業(修了)した学生が入学した年度。 (その他)編入学者)調査年度中に当該学校を卒業(修了)した、編入した者の卒業・修了者数を記入する。大学学部においては学校教育法第99条、大学院研究科においては大学院設置基準第16条及び第17条ただし書きにより、優れた業績を上げた者を早期に修了させた者も含めて記入する。 (卒業・修了者数)課程別、性別、入学年度別の卒業(修了)者数。 学校基本調査 様式第30号 記入上の注意 を参照のこと。学校基本調査の「平成 年度以前入学、欄についても本調査票の「平成 年度入学、欄に同様に記入する。」	

4-9 就職者(産業別) 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)	
大学等名	大学等コード
学部・研究科等名	学部・研究科等コード

行番号	課程区分	昼夜区分	履修区分	学科・専攻等名	学科・専攻等コード	就職者数	就職先(産業区分)																												合計											
							農業、林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	食料品・たばこ・飲料	繊維工業	印刷・同関連業	化学工業、石油・石炭製品製造業	鉄鋼業、金属製品製造業	製造業 はん用・生産用・業務用	電子部品・デバイス・電子回路製造業	電気・情報通信機器器具製造業	輸送用機器器具製造業	その他の製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業・小売業		金融業・保険業		不動産業 物品賃貸業		学術研究・専門・技術サービス業		宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育・学習支援業		医療・福祉		複合サービス業	サービス業		公務		左記以外			
																								卸売業	小売業	金融業	保険業	不動産取引・賃貸・管理業	物品賃貸業	学術・開発研究機関	法務			その他の専門・技術サービス業		学校教育	その他の教育・学習支援業		医療業、保健衛生	社会保険・社会福祉・介護事業	宗教	その他のサービス業		国家公務	地方公務	
1	6	7	8	9	10		11	13	15	17	19	21	23	25	27	29	31	33	35	37	39	41	43	45	47	49	51	53	55	57	59	61	63	65	67	69	71	73	75	77	79	81	83	85		
							12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48	50	52	54	56	58	60	62	64	66	68	70	72	74	76	78	80	82	84	86		
	合計																																													

この調査票は、学校基本調査 様式第30号「卒業後の状況調査票(2-2)」の「8 産業別就職者数」に準じており、調査年度の翌年度に実施した学校基本調査から数値を引用することが可能です。
 項番 6、7、9、10 が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
 以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
 項番 6、7、8、10

[項番]	[項目定義]
6	課程区分 学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程 <ブルダウン選択> 専攻科及び別科については任意とする。
7	昼夜区分 昼間、夜間、昼夜 <ブルダウン選択>
8	履修区分 通学、通信、多様なメディア <ブルダウン選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
9	学科・専攻等名 組織登録票「0 - 3組織登録票(学科・専攻等)」で記載した組織名。	調査年度の翌年度5月1日現在	文字: 60字
10	学科・専攻等コード 組織登録票「0 - 3組織登録票(学科・専攻等)」で記載したコード。		半角英数字: 3桁または4
11 - 86	就職先(産業)区分別/男女別就職者数 調査票「4-7 卒業・修了者」に記入された「F自営業主等」「G無期雇用労働者」と(再掲)「進学した者(A~E)」のうち就職している者、「有期雇用労働者(H)」のうち、雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者について、調査年度の翌年度5月1日時点の就職先(産業)区分別/男女別の就職者数を記入する。 【就職先(産業)区分】 学生の就職先の業種(農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療・福祉、複合サービス業、サービス業(他に分類されないもの)、公務(他に分類されるものを除く)、左記以外) 日本標準産業分類による		半角数字(人数): 8桁

4-10 TA・RA 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名		大学等コード	
学部・研究科等名		学部・研究科等コード	

TA従事時間総計
6

RA従事時間総計
7

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
6	<p>TAが従事した時間の総計。 TA(ティーチング・アシスタント)の定義は、当該機関の規定に依るものとする。ただし基本原則として、TAは教育補助を目的に採用する者でなければならない。TAとして従事した組織に計上する。 小数点第2位以下は四捨五入し、第1位までで入力(例:4時間30分 4.5時間)。 整数部分8桁、小数部分1桁で入力</p>	調査年度実績	半角数字(時間):9桁
7	<p>RAが従事した時間の総計。 RA(リサーチ・アシスタント)の定義は、当該機関の規定に依るものとする。ただし基本原則として、RAは研究補助を目的に採用する者でなければならない。RAとして従事した組織に計上する。 小数点第2位以下は四捨五入し、第1位までで入力(例:4時間30分 4.5時間)。 整数部分8桁、小数部分1桁で入力</p>		

(2015.06.01改訂)

5-1 入学科・授業料 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名	大学等コード
学部・研究科等名	学部・研究科等コード

行	課程区分	昼夜区分	履修区分	学科・専攻等名	学科・専攻等コード	入学科(円)	授業料(円)	入学科免除者		申請者数	全額免除者数	一部(半額)免除者数	免除額総合計(円)
1	6	7	8	9	10	11	12			13	14	15	16
								授業料免除者	前期	17	18	19	20
									後期	21	22	23	24

申請者 全額免除者数 + 一部免除者数

入学金および授業料が学部・研究科等内で一律である場合には、学科・専攻等名を「直属」、学科・専攻等コードを「999」として学部・研究科等ごとに1シートで入力する。

項番6、7、9、10が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて

以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。

項番 6、7、8、9

[項番]	[項目定義]
6	課程区分 学士・専攻科・別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程 <プルダウン選択>
7	昼夜区分 昼間、夜間、昼夜 <プルダウン選択>
8	履修区分 通学、通信、多様なメディア <プルダウン選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
9	学科・専攻等名	調査年度実績	文字:60字
10	学科・専攻等コード		半角英数字:3桁または4桁
11	入学科		半角数字(円):7桁
12	授業料		半角数字(円):7桁
13	入学科免除申請者数		
14	入学科免除全額免除者数		半角数字(人数):6桁
15	入学科一部(半額)免除者数		
16	入学科免除額総合計		半角数字(円):12桁
17、21	免除期間区分別授業料免除申請者数		
18、22	免除期間区分別授業料全額免除者数		半角数字(人数):6桁
19、23	免除期間区分別授業料一部(半額)免除者数		
20、24	免除期間区分別授業料免除額総合計	半角数字(円):12桁	

(2019.7.22改訂)

5-2 奨学金採用 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名	<input type="text"/>	大学等コード	<input type="text"/>
学部・研究科等名	<input type="text"/>	学部・研究科等コード	<input type="text"/>

行 番 号	課程区分	昼夜区分	履修区分	日本学生支援機構			その他		合計		
				申請者数	奨学金給付区分別採用者数		申請者数	採用者数	申請者数	採用者数	
					第一種	第二種					併用
1	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
2	6	7	8	9	10	11	12	13	14		

申請者 第一種 + 第二種 + 併用

申請者 採用

項番6、7が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて

以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。

項番 6、7、8

[項番]	[項目定義]
6	課程区分 学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程 <プルダウン選択>
7	昼夜区分 昼間、夜間、昼夜 <プルダウン選択>
8	履修区分 通学、通信、多様なメディア <プルダウン選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
9、13	奨学金団体区分別申請者数 奨学金団体区分別の奨学金申請者数。 日本学生支援機構等で、入学以前に申請している者については、当該機関が把握している範囲で集計に含める。「その他」の申請者数欄は任意記入。 同一人物が年度内に複数回申請した場合は、その回数分を計上する。 海外留学支援制度については含めない。	調査年度実績	半角数字(人数):6桁
10~12、14	奨学金団体区分別・給付区分別採用者数 奨学金団体区分、奨学金給付区分別の奨学金採用者(受給者)数。 日本学生支援機構等で、入学以前に採用されている者については、当該機関が把握している範囲で集計に含める。「その他」の採用者数も、大学で把握している範囲で記入する。		

(2019.7.22改訂)

6-1 産業財産権・特許 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名	<input type="text"/>	大学等コード	<input type="text"/>
学部・研究科等名	<input type="text"/>	学部・研究科等コード	<input type="text"/>

産業財産権の保有件数	特許		ライセンス契約	
	出願数	取得数	件数	収入(千円)
6	7	8	9	10

産業財産権等については、教員(本務教員、兼務者)、学生、研究員(博士研究員、博士課程研究員)、職員(常勤)が発明、考案し、当該組織または組織の依頼を受けたTLO(技術移転機関)を通じて出願し、権利が当該組織または機関に帰属するものを対象とする。

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
6	産業財産権の保有件数 組織別の産業財産権(特許権、実用新案権、意匠権、商標権)の調査年度末時点の保有(取得)総件数。	調査年度実績	半角数字(件数):7桁
7	特許出願数 組織別の特許の出願総件数。ただし当該組織又は組織の依頼を受けたTLO(技術移転機関)を通じて出願されたものを対象とする。国内に限らず、外国への出願も含む。 出願日を基準にしてカウント。年度をまたいでいても、再出願は含めない。 また、同一の発明・技術の各国への出願は重複させず、1件として集計する。		半角数字(件数):4桁
8	特許取得数 組織別の特許の取得総件数。ただし、権利が当該組織または機関に帰属するものを対象とする。国内に限らず、外国での取得も含む。		半角数字(件数):9桁
9	ライセンス契約件数 組織別の特許のライセンス契約総件数(新規契約及び継続契約の合計)。ライセンス契約数は、当該組織または組織の依頼を受けたTLO(技術移転機関)が契約したものを対象とする。 契約件数には譲渡契約も含む。		半角数字(千円):12桁
10	ライセンス契約収入 組織別の特許のライセンス契約総収入(新規契約及び継続契約の合計)(千円単位で入力し、千円未満は四捨五入とする)。 ライセンス収入は当該年度内に、当該組織または機関へ入金された金額のみを含み、教員個人等への収入は除く。		

(2019.7.22改訂)

6-2 科学研究費補助金 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)						
大学等名			大学等コード			
学部・研究科等名			学部・研究科等コード			
研究種目 6		申請件数	内定件数	内定金額(円)	間接経費(円)	
科学研究費	基礎研究(S)	新規	7	8	9	10
		継続	7	8	9	10
	基礎研究(A)	新規	7	8	9	10
		継続	7	8	9	10
	基礎研究(B)	新規	7	8	9	10
		継続	7	8	9	10
	基礎研究(C)	新規	7	8	9	10
		継続	7	8	9	10
	特別推進研究	新規	7	8	9	10
		継続	7	8	9	10
	挑戦的研究(開拓)	新規	7	8	9	10
		継続	7	8	9	10
	挑戦的萌芽研究	新規	7	8	9	10
		継続	7	8	9	10
	挑戦的研究(萌芽)	新規	7	8	9	10
		継続	7	8	9	10
	若手研究(A)	新規	7	8	9	10
		継続	7	8	9	10
	若手研究(B)	新規	7	8	9	10
		継続	7	8	9	10
若手研究	新規	7	8	9	10	
	継続	7	8	9	10	
研究活動スタート支援	新規	7	8	9	10	
	継続	7	8	9	10	
新学術領域研究	新規	7	8	9	10	
	継続	7	8	9	10	
奨励研究	新規	7	8	9	10	
	継続	7	8	9	10	
学術変革領域研究	新規	7	8	9	10	
	継続	7	8	9	10	
特別研究促進費	新規	7	8	9	10	
	継続	7	8	9	10	
特別研究員奨励費	新規	7	8	9	10	
	継続	7	8	9	10	
国際共同研究加速基金	新規	7	8	9	10	
	継続	7	8	9	10	
研究成果公開促進費	新規	7	8	9	10	
	継続	7	8	9	10	

当該組織の教員・研究員が研究代表者として申請(応募)した研究課題を集計対象とする。(研究分担者として参加する課題は含めない)。
申請(応募)から交付内定までの間に所属する組織を変更した場合でも、申請(応募)時の組織で内定件数及び内定金額を回答すること。

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]	
6	研究種目 科学研究費助成事業研究種目。 種目ごとに新規と継続に区分する。 【研究種目】 科学研究費 (特別推進研究、新学術領域研究、基礎研究(S)、基礎研究(A)、基礎研究(B)、基礎研究(C)、挑戦的萌芽研究、挑戦的研究(開拓)、挑戦的研究(萌芽)、若手研究(A)、若手研究(B)、若手研究、研究活動スタート支援、奨励研究、学術変革領域研究) 特別研究員奨励費 特別研究員奨励費 国際共同研究加速基金 研究成果公開促進費 システムの仕様より研究種目は異なる。	調査年度実績	固定値 システム内部でコード化	
7	研究種目別申請件数(新規・継続別)		組織別、科学研究費助成事業研究種目(新規・継続)別の科学研究費助成事業の申請(応募)件数。	半角数字(件数):4桁
8	研究種目別内定件数(新規・継続別)		組織別、科学研究費助成事業研究種目(新規・継続)別の科学研究費助成事業の交付内定件数。	半角数字(件数):4桁
9	研究種目別内定金額(新規・継続別)		組織別、科学研究費助成事業研究種目(新規・継続)別の科学研究費助成事業の交付内定金額のうち、直接経費のみを計上する。 内定金額欄は「交付内定一覧」に記載された当該調査年度の交付予定額(直接経費)を記載する。	半角数字(円):12桁
10	研究種目別間接経費(新規・継続別)		組織別、科学研究費助成事業研究種目(新規・継続)別の科学研究費助成事業の交付内定金額のうち、間接経費のみを計上する。 間接経費欄は「交付内定一覧」に記載された当該調査年度の交付予定額(間接経費)を記載する。	

6-3 競争的外部資金 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名	大学等コード
学部・研究科等名	学部・研究科等コード

競争的外部資金区分 6		採択件数	受入金額(円)	間接経費(円)	
政府等の助成金	総務省	7	8	9	
	文部科学省	21世紀COEプログラム			
		特色ある大学教育支援プログラム			
		科学技術振興調整費			
		戦略的創造研究推進事業			
		現代的教育ニーズ取組支援プログラム経費			
		その他			
	厚生労働省				
	農林水産省				
	経済産業省				
	国土交通省				
	環境省				
	その他省庁等				
地方自治体等の助成金					
民間からの助成金					
海外からの助成金					

各組織の競争的外部資金の受入状況の集計情報。
 当該組織を本務先とする教員・研究員が代表者となって受け入れた競争的外部資金を集計対象とする。
 ただし、組織が主体となって行っている当該機関が判断する研究については、代表者の所属にかかわらずその組織において計上して競争的外部資金のうち「政府等の助成金」には、内閣府が「競争的資金制度」として示しているもの(文部科学省の科学研究費助成事業を除く。)及び文部科学省が実施している教育活動に関するものが含まれる。その他のものとして、地方自治体等や国内の民間団体、海外の各種団体などが公募・審査の過程を経て助成しているものが加わる。概して、公募・審査の過程の有無が本調査の対象であるか否かまた、研究を受託する形式をとりながら、実質的には公募・審査の過程を経て経費を獲得しているものについては、対象に含める。なお、上記に該当するものであっても、個人が受給対象となり、その個人から大学へ寄附金として移管されるものについては、ここには含めない(06-05寄附金に計上する)。

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
6	競争的外部資金区分 当該組織を本務先とする教員・研究員が代表者となって受け入れた競争的外部資金の種類		固定値 システムでコード化
7	区分別採択件数 組織別、競争的外部資金区分別の競争的外部資金の採択件数。 競争的外部資金(「6-2 科学研究費助成事業 調査票」を除く)の種類による区分。 外部団体などで国や地方公共団体が出資元であることが明らかなる場合は、それぞれの省庁または地方公共団体に含める。 複数年度にまたがる場合には各年度ごとに計上する。 【政府等の助成金】 総務省(情報通信研究機構、消防庁を含む。) 文部科学省(日本学術振興会、科学技術振興機構、日本医療研究開発機構を含む。『戦略的創造研究推進事業』、『その他』の別に集計する。) 厚生労働省(医薬品医療機器総合機構、日本医療研究開発機構を含む。) 農林水産省(農業・食品産業技術総合研究機構を含む。) 経済産業省(新エネルギー・産業技術総合開発機構を含む。) 国土交通省(鉄道建設・運輸施設整備支援機構を含む。) 環境省(環境再生保全機構を含む) その他の省庁	調査年度実績	半角数字(件数):4桁
8	区分別受入金額 組織別、競争的外部資金区分別の競争的外部資金の間接経費も含めた総受入金額。 複数年度支給される場合には、当該年度において支給された金額のみを集計する。		半角数字(円):12桁
9	区分別間接経費 組織別、競争的外部資金区分別の競争的外部資金の間接経費。一般管理費も含む。 複数年度支給される場合には、当該年度において支給された金額のみを集計する。		

6-4 共同研究・受託研究・受託研究員 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名	大学等コード
学部・研究科等名	学部・研究科等コード

相手先区分	共同研究受入状況			受託研究受入状況								受託研究員受入			
	受入件数	受入金額(円)	共同研究員受入人数	一般受託研究		受託試験		病理組織検査		治験薬試験				合計	
				受入件数	受入金額(円)	受入件数	受入金額(円)	受入件数	受入金額(円)	受入件数	受入金額(円)	受入件数	受入金額(円)	受入人数	受入金額(円)
その他 6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			18	19
合計															

受託研究とは、ある特定の目的のため外部組織から委託された調査・研究とし、政府出資金等の競争的な外部資金による研究は除く。ただし、競争的な外部資金による研究を外部組織から再委託されたものは受託研究に含めることとする。当該組織を本務先とする教員・研究員が代表者となって受け入れた共同研究・受託研究を集計対象とする。ただし、組織が主体となって行っていると当該機関が判断する研究については、代表者の所属にかかわらずその組織において計上して良い。

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
6	相手先区分	共同研究の相手先、受託研究の委託元の区分を登録	固定値
7	相手先区分別・共同研究受入件数	組織別、相手先別の共同研究の受入件数。 資金の受入がない場合も、契約を結んだ共同研究については件数に含める。 複数年契約の場合も、実施時期が調査年度に重なる共同研究については件数に含める。 同一年度に同一課題で研究費を分割して受け入れる場合、件数は1として計上する。 [共同研究の相手先による区分] 国内企業、国、独立行政法人、その他公益法人等、地方公共団体、外国政府機関、外国企業、大学、その他 海外大学は「その他」に計上する。	半角数字(件数):6桁
8	相手先区分別・共同研究受入金額	組織別、相手先別の共同研究の受入金額。 複数年度支給される場合には、調査年度において支給された金額のみを集計する。 他方で、複数年度の研究課題でも、研究費受入が調査年度にまとめて行われた場合は、その合計金額を算入する(したがって、件数は1と算入されるが、研究費受入を伴わない課題もありうる)。 相手先区分は、相手先区分別・共同研究受入件数の定義を参照。	半角数字(円):12桁
9	相手先区分別・共同研究員受入人数	組織別、相手先別の共同研究で受け入れた研究員の人数。 相手先区分は、相手先区分別・共同研究受入件数の定義を参照。	半角数字(人数):6桁
10、12、14、16	相手先区分別・受託研究受入状況別受入件数	組織別、相手先別、受託研究区分別の受託研究の受入件数。 資金の受入がない場合も、契約を結んだ受託研究については件数に含める。 複数年契約の場合も、実施時期が調査年度に重なる受託研究については件数に含める。 同一年度に同一課題で研究費を分割して受け入れる場合、件数は1として計上する。 受託試験については、規程等を設けて学外からの依頼に応じて試験・分析・鑑定等を行う場合に計上する。 病理解剖は病理組織検査に含めない。 製造販売後臨床試験は治験薬試験に含めない。 [受託研究の依頼元による区分] 国内企業、国、独立行政法人、その他公益法人等、地方公共団体、外国企業、大学、その他 海外大学は「その他」に計上する。	調査年度実績 半角数字(件数):6桁
11、13、15、17	相手先区分別・受託研究受入状況別受入金額	組織別、相手先別、受託研究区分別の受託研究の受入金額。 複数年度支給される場合には、調査年度において支給された金額のみを集計する。 他方で、複数年度の研究課題でも、研究費受入が調査年度にまとめて行われた場合は、その合計金額を算入する(したがって、件数は1と算入されるが研究費受入を伴わない課題もありうる)。 相手先区分は、相手先区分別・受託研究受入状況別受入件数の定義を参照。	半角数字(円):12桁
18	相手先区分別・受託研究員受入人数	組織別、相手先別の受託研究員の受入人数。 相手先区分は、相手先区分別・受託研究受入状況別受入件数の定義を参照。	半角数字(件数):6桁
19	相手先区分別・受託研究員受入金額	組織別、相手先別の受託研究員の受入金額。 相手先区分は、相手先区分別・受託研究受入状況別受入件数の定義を参照。	半角数字(円):12桁

6-5 寄附金・寄附講座 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名	<input type="text"/>	大学等コード	<input type="text"/>
学部・研究科等名	<input type="text"/>	学部・研究科等コード	<input type="text"/>

寄附金 (寄附講座・研究部門を除く)		寄附講座・研究部門		合計
受入件数	受入金額(円)	設置数	受入金額(円)	受入金額(円)
6	7	8	9	

当該組織または当該組織を本務先とする教員・研究員が代表者となって受け入れた寄附金および寄附講座・研究部門を集計対象とする。
 実験装置、物品、動産、不動産および無体財産等による寄附は除く。
 複数年に渡り寄附講座・研究部門を受け入れている場合、集計対象の年度において受け入れている設置数および金額を対象とする。

【項番】	【項目定義】		【基準日】	【データ書式】
6	寄附金受入件数	組織別の寄附金の受入件数。	調査年度実績	半角数字(件数):6桁
7	寄附金受入金額	組織別の寄附金の受入金額。		半角数字(円):12桁
8	寄附講座・研究部門設置数	組織別の寄附講座もしくは研究部門の受入設置数。		半角数字(件数):4桁
9	寄附講座・研究部門受入金額	組織別の寄附講座もしくは研究部門の受入金額。 設置の前年度に受け入れている場合も実態にあわせて計上する。		半角数字(円):12桁

(2017.11.29改訂)

7-1 外国人学生 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学寄名

行 番 号	課程区分	国籍名	国コード	留学生数	人文科学 (人文)	社会科学 (社会)	理学(教養)	工学(工業)	農学(農業)	保健 (医学・歯学)	保健 (医学・歯学を 除く)	商船	家政	教育	芸術	その他	合計	別掲1					
					性別	専攻科・ 別科の学生	科目等履修生・ 聴講生・研究生 等	合計															
1	4	5	6	国費留学生	男	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	9				
					女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	9		
				私費留学生	男	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	9		
					女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	9		
				その他	男	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	9	
					女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	9	

この調査票は、学校基本調査 様式第11号「外国人学生調査票」に準じており、数値を引用することが可能です。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 4、5、6

【項番】	【項目定義】
4	課程区分 学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程、その他 <プルダウン選択> 学校基本調査の「学校(課程)種別」をこの調査票に限っては、下記の通り読み替える。 修士課程(修士+博士前期) 修士課程 博士課程(博士後期+博士一貫) 博士課程(後期)

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
5、6	国籍名(国コード) 国コードは直接入力不可、国名をリストから選択すると、その国名に該当する国コードが自動的に設定される。 <プルダウン選択>	5月1日現在	半角数字:3桁のみ
7	留学生区分・国籍・男女・分野別の外国人学生の人数。 国籍表示については、旅券、外国人登録証明書又は在留カードに記載されている名称による。 「外国人」日本の国籍を有しない者をいう。 「留学生」日本の大学に留学する目的を持って入国した外国人学生である。すなわち、出入国管理及び難民認定法第2条の2別表第1の4に定める「留学」(本邦の大学、高等専門学校、高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。))若しくは特別支援学校の高等部、専修学校若しくは各種学校又は設備及び編制にこれらに準ずる機関において教育を受ける活動)による在留資格によって、入国した者である。なお、同法による他の在留資格によって入国し、その後所定の手続を経て上記に定める資格に変更することを許された者も留学生として扱う。 【留学生区分】 国費留学生...日本政府から奨学金を支給されている留学生である。 私費留学生...上記の国費以外の留学生。例えば、自費による者、都道府県またはその者の本国から奨学金の支給を受けている者である。 その他...留学生以外のすべての外国人学生であり、主として日本の高等学校(中等教育学校(後期課程))を卒業して大学に入学した外国人である。		半角数字(人数):6桁
8	留学生区分・国籍別・男女別専攻科・別科 留学生区分・国籍・男女別の専攻科・別科学生の人数。別掲1に記入。 留学生区分は、留学生区分・国籍・男女・分野別外国人学生数の定義を参照。		
9	留学生区分・国籍別・男女別科目等履修生等数 留学生区分・国籍・男女別の科目等履修生・聴講生・研究生等の人数。別掲1に記入。 留学生区分は、留学生区分・国籍・男女・分野別外国人学生数の定義を参照。		

7-2 外国籍研究者 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名	<input type="text"/>	大学等コード	<input type="text"/>
学部・研究科等名	<input type="text"/>	学部・研究科等コード	<input type="text"/>

行 番 号	国籍名	国コード	外国籍研究者数											研究員	合計
			本務教員					本務教員以外の教員							
			教授	准教授	講師	助教	助手	教授	准教授	講師	助教	助手			
1	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
合計															

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6、7

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
6、7	国籍名(国コード) 国コードは直接入力不可。国名をリストから選択すると、その国名に該当する国コードが自動的に設定される。 <プルダウン選択>		
8～18	出身国別、外国籍研究者区分別の外国籍研究者の人数。 (学校基本調査 様式第7号「学生教職員等状況票」 記入上の注意 4教員数(本務者)及び5教員数(兼務者)を参照のこと。) 【外国籍研究者の区分】 本務教員(教授、准教授、講師、助教、助手)、本務教員以外の教員(教授、准教授、講師、助教、助手)、研究員(博士研究員) 研究員については、JSPS外国人特別研究員、当該機関が招へいた客員研究員、ポスドクなどのうち、調査基準時点で既に在籍しており、滞在(予定)期間が1年以上の者とする。	5月1日 現在	半角数字(人数):5桁

(2017.11.29改訂)

7-3 学生海外派遣 調査票

共通調査票

調査年度(西暦)

大学等名	<input type="text"/>	大学等コード	<input type="text"/>
学部・研究科等名	<input type="text"/>	学部・研究科等コード	<input type="text"/>

行	課程区分	昼夜区分	履修区分	派遣先国名	国コード	学生海外派遣人数
1	6	7	8	9	10	11
2	6	7	8	9	10	11
3	6	7	8	9	10	11
合計						

項番6、7が組織登録票と一致していないと調査票をアップロードできない場合がありますのでご注意ください。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 6、7、8、9、10

【項番】	【項目定義】	
6	課程区分	学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程 <プルダウン選択>
7	昼夜区分	昼間、夜間、昼夜 <プルダウン選択>
8	履修区分	通学、通信、多様なメディア <プルダウン選択> デフォルトで「通学」を入力していますが、適宜ご変更ください。
9 / 10	派遣先国名(国コード)	国コードは直接入力不可。国名をリストから選択すると、その国名に該当する国コードが自動的に設定される。 <プルダウン選択>

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
11	派遣人数 派遣先国別の海外留学生の派遣人数。留学生として派遣される学生の人数のみを計上する。複数年度にわたって派遣される学生についても、派遣期間が調査期間(調査年度実績)と重なる者は集計に含める。 本調査における海外派遣は、組織(大学または学部・研究科レベル)の教育制度として実施し、参加が単位の取得に結び付くものを対象とする。	調査年度実績	半角数字(人数):6桁

(2019.7.22改訂)

7-4 教員・職員海外出張等 調査票

任意調査票

調査票(西暦)

大学等名 大学等コード

行 番 号	出張先国名	国コード	出張人数							職員
			役員	教員					合計	
				教授	准教授	講師	助教	助手		
1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	合計									

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 4、5

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
4 / 5	出張先国名 国コード 国コードは直接入力不可。国名をリストから選択すると、その国名に該当する国コードが自動的に設定される。 <ブルダウン選択>	調査年度実績	半角数字(人数):5桁
6	役員海外出張人数 出張先国別の役員(定義は当該機関の規定に基づく。ただし教員・職員と重複しない者のみを対象とする。)の海外出張人数。 一度の出張で複数国に滞在した場合は、国毎にカウントする。 同一者が同一国に複数回出張した場合は、訪問の延べ数でカウントする。		
7 ~ 11	職名別教員海外出張人数 出張先国別の教員の海外出張人数。 一度の出張で複数国に滞在した場合は、国毎にカウントする。 同一者が同一国に複数回出張した場合は、訪問の延べ数でカウントする。 年度をまたがる出張の場合は各年度にカウントする。 調査票「2 - 2 本務教員(基本)」において定義される教員を対象とする。 【職名による区分】 教授、准教授、講師、助教、助手		
12	職員海外出張人数 出張先国別の職員の海外出張人数。 一度の出張で複数国に滞在した場合は、国毎にカウントする。 同一者が同一国に複数回出張した場合は、訪問の延べ数でカウントする。 調査票「2 - 10 職員」において定義される常勤の職員を対象とする。		

(2017.11.29改訂)

7-5 協定校等交流状況 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名 大学等コード

行	相手側機関名				日本側部局名		派遣者数		受入者数		備考
	名称	相手側組織レベル	国・地域名	国・地域コード	学部・研究科等名	学部・研究科等コード	教職員	学生	教職員	学生	
1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
合計											

当該調査期間において、人的交流の実績があった協定を調査の対象とする。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 4、6、7、9

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
4	相手側(協定校等)機関名(名称) 相手先機関の名称(英文または日本語表記)。	調査年度実績	文字:100字
5	相手側組織レベル 「大学全体」、「学部」、「研究科」、「研究所」など相手側の組織レベルが分かるような簡潔な語で記入すること。		文字:30字
6/7	国・地域名(国・地域コード) 国コードは直接入力不可。国名をリストから選択すると、その国名に該当する国コードが自動的に設定される。 <プルダウン選択>		
8	日本側部局名(学部・研究科等名) 日本側の組織レベル(大学、学部・大学院等など)組織登録票「0 - 2組織登録票(学部・研究科等)」で記載した組織名。大学全体を示す場合は「学部・研究科等名」には「直属」を記入する。複数組織と協定を結んでいる場合は、責任組織のみを記入し、その他は備考欄に記入する。		文字:60字
9	日本側部局コード(学部・研究科等コード) 組織登録票「0 - 2組織登録票(学部・研究科等)」で記載したコード。大学全体を示す場合は「学部・研究科等コード」には「999」を記入する。		半角英数字:3桁または4桁
10	教職員派遣者数 交流協定に基づいて派遣した教職員の合計数。複数年度にわたって派遣される教職員についても、派遣期間が調査期間(調査年度実績)と重なる者は集計に含める。調査票「2 - 2本務教員(基本)」において定義される教員、及び、調査票「2 - 10職員」において定義される常勤職員を対象とする。		半角数字(人数):5桁
11	学生派遣者数 交流協定に基づいて派遣した学生数。複数年度にわたって派遣される学生についても、派遣期間が調査期間(調査年度実績)と重なる者は集計に含める。		半角数字(人数):6桁
12	教職員受入者数 交流協定に基づいて受入れた教職員数。複数年度にわたって受入れた教職員についても、受入期間が調査期間(調査年度実績)と重なる者は集計に含める。		半角数字(人数):5桁
13	学生受入者数 交流協定に基づいて受入れた学生数。複数年度にわたって受入れた学生についても、受入期間が調査期間(調査年度実績)と重なる者は集計に含める。		半角数字(人数):6桁
14	備考 協定内容の概要を100文字以内で記入。		文字:100字

8-1 公開講座 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名 大学等コード

行	名称	参加人数	実施回数	開始年月日	終了年月日	総開催時間数
1	4	5	6	7	8	9

名称を除く項目は、当該機関が把握している範囲で記入して下さい。

重複エラーについて
 以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
 項番 4

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
4	名称 組織が主催した公開講座の名称。 同一名称の行が複数存在することのないよう、通し番号、開催担当組織名、対象者種別などを適宜加えること。	調査年度実績	文字:100字
5	参加人数 組織が主催した公開講座の参加人数。		半角数字(人数):6桁
6	実施回数 組織が主催した公開講座の実施回数。		半角数字(回数):3桁
7	開始年月日 組織が主催した公開講座の開始年月日。		半角数字(年月日):YYYY/MM/DD
8	終了年月日 組織が主催した公開講座の終了年月日。		
9	総開催時間数 組織が主催した公開講座の総開催時間数。 小数点第2位以下は四捨五入し、第1位までで入力(例:4時間30分 4.5時間)。 整数部分4桁、小数部分1桁で入力		半角数字(時間):5桁

(2016.03.01改訂)

8-2 講演会展示会 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名 大学等コード

行	名称	参加人数	実施回数	開始年月日	終了年月日	総開催時間数
1	4	5	6	7	8	9

名称を除く項目は、当該機関が把握している範囲で記入して下さい。

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 4

【項番】	【項目定義】		【基準日】	【データ書式】
4	名称	組織が主催した講演会・展示会等の名称。 同一名称の行が複数存在することのないよう、通し番号、開催担当組織名、対象者種別などを適宜加えること。 学内教職員のみを対象としたものは計上しない。	調査年度実績	文字:100字
5	参加人数	組織が主催した講演会・展示会等の参加人数。把握が困難なものについては、概数または空欄。		半角数字(人数):6桁
6	実施回数	組織が主催した講演会・展示会等の実施回数。		半角数字(回数):3桁
7	開始年月日	組織が主催した講演会・展示会等の開始年月日。		半角数字(年月日):YYYY/MM/DD
8	終了年月日	組織が主催した講演会・展示会等の終了年月日。		
9	総開催時間数	組織が主催した講演会・展示会等総開催時間数。 小数点第2位以下は四捨五入し、第1位までで入力(例:4時間30分 4.5時間)。 整数部分4桁、小数部分1桁で入力		半角数字(時間):5桁

(2017.11.29改訂)

8-3 オープンキャンパス 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名 大学等コード

オープンキャンパス実施状況	開催延日数	参加者数
	4	5

【項番】	【項目定義】		【基準日】	【データ書式】
4	開催延日数	オープンキャンパスを開催した延べ日数 研究室で主催した分などでも大学で把握していれば全て記入しても良い。	調査年度実績	半角数字(日):3桁
5	参加者数	オープンキャンパスに来場した参加者数		半角数字(人数):6桁

(2015.06.01改訂)

10-1 自己点検・評価 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名 大学等コード

行	被評価組織名	被評価組織コード	評価実施体制	外部評価者数 外国籍	評価対象期間	評価結果告知年月日	評価結果公開URL
1	4	5	6	7 8	9	10	11

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 4、5、9、10

[項番]	[項目定義]	[基準日]	[データ書式]
4	被評価組織名 自己点検評価の対象となった組織名。 機関全体が対象となった場合は、「被評価組織名」に「直属」を入力する。 評価結果を受けた年度を基準に記入する。	調査年度実績	文字:60字
5	被評価組織コード 自己点検評価の対象となった組織に対する組織コード。 機関全体が対象となった場合は、「被評価組織コード」:「999」を入力する。 組織登録の第2階層を表す場合は、組織コードの3文字、または4文字を入力する。 組織登録の第3階層を表す場合は、組織コードの第2階層(3文字、または4文字)と第3階層(3文字、または4文字)の計6~8文字を入力する。		半角英数字:3桁または4桁、6~8桁
6	評価実施体制 評価を実施した際の体制。2400文字以内。		文字:2400字
7	外部評価者数 評価実施体制の項目に記載された評価実施人員のうち、学外の評価者の数。(外国籍を含める)		半角数字(人数):3桁
8	外国籍 上記の外部評価者のうち外国籍の数。		
9	評価対象期間 自己点検評価の対象となった期間。 「平成 年 月 日~平成 年 月 日」又は「平成 年度」等、40文字以内で記入。		文字:40字
10	評価結果告知年月日 評価結果を被評価組織に告知または公表した年月日。 YYYY/MM/DD or YYYY/MM or YYYY 形式 1800/01/01~2100/12/31の期間内。		半角数字(年月日):YYYY/MM/DD
11	評価結果公開URL 大学等のHP上で公開している場合は、URLを記述する。		文字:200字

(2016.03.01改訂)

10-2 第三者評価 調査票

任意調査票

調査年度(西暦)

大学等名 大学等コード

行	被評価組織名	被評価組織コード	評価機関名	評価対象期間	評価結果告知年月日	評価結果公開URL
1	4	5	6	7	8	9

重複エラーについて
以下の項番に入力したデータがすべて重複した場合、エラーとなりデータの登録が行えません。
項番 4、5、8

【項番】	【項目定義】	【基準日】	【データ書式】
4	被評価組織名 第三者評価の対象となった組織名。 機関全体が対象となった場合は、「被評価組織名」に「直属」を入力する。 評価結果を受けた年度を基準に記入する。	調査年度実績	文字:60字
5	被評価組織コード 第三者評価の対象となった組織に対する組織コード。 機関全体が対象となった場合は、「被評価組織コード」:「999」を入力する。 組織登録の第2階層を表す場合は、組織コードの3文字、または4文字を入力する。 組織登録の第3階層を表す場合は、組織コードの第2階層(3文字、または4文字)と第3階層(3文字、または4文字)の計6~8文字を入力する。		半角英数字:3桁または4桁、6~8桁
6	評価機関名 評価を実施した機関の名称 (大学改革支援・学位授与機構、大学基準協会、ISO、JABEEなど)		文字:60字
7	評価対象期間 第三者評価の対象となった期間。 「平成 年 月 日~平成 年 月 日」または「平成 年度」等、40文字以内で記入。		文字:40字
8	評価結果告知年月日 評価結果が通知または公表された年月日。 YYYY/MM/DD or YYYY/MM or YYYY 形式 1900/01/01 ~ 2100/12/31の期間内。		半角数字(年月日):YYYY/MM/DD
9	評価結果公開URL 大学等のHP上で公開している場合は、URLを記述する。		文字:200字

(2016.03.01改訂)